

資 料

資料1. 基本施策のこれまでの取組と評価・課題、今後の方向性

資料2. 恵庭市運動・スポーツ推進計画総合評価の推移（H28～R元年度）

*総合評価：恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会委員による中項目別評価

資料3. 恵庭市運動・スポーツ推進計画中間見直しに係るアンケート一式
（設問及び結果）

資料4. 恵庭市スポーツ振興まちづくり条例

資料5. 恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会委員名簿

基本施策のこれまでの取組と評価・課題、今後の方向性

(恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会資料)

現行の「恵庭市 運動・スポーツ推進計画」では、「恵庭市スポーツ振興まちづくり条例」や「夢と健康を育むスポーツ都市宣言」に基づき、スポーツを通じた健康で活力あるまちづくり実現のため、3つの基本方針のもと、様々な取り組みを行いました。

計画（計画期間：平成28（2016）～令和7（2025）年度）の中間年度にあたる本年度（令和2年度）に、前半の基本施策の進捗状況を評価・検証を示します。

□現行計画の進捗状況の確認

- ・基本施策に係る事業について、担当課が実施した関連事業の実施状況を確認。
- ・市民アンケート調査（無作為2,000名）

□評価

- ・担当課による自己評価
- ・恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会委員による事業評価

評価基準	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。
------	--

□課題

- ・関連事業に係る進捗状況や評価、市民アンケート結果を踏まえ課題を抽出

□今後の方向性

- ・担当課及び審議会委員の評価、市民アンケート結果を踏まえ、今後の方向性を抽出

基本方針 I 運動やスポーツを通じた健康の保持増進

基本施策 I - 1 : 子どもの運動やスポーツ活動の推進

(1) 幼児期からの遊びや運動の習慣づくり

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	親子で遊びや運動に親しむプログラムの提供	子育て支援課	B
②	幼児期の身体活動の促進	子育て支援課	B
③	幼児期からの望ましい栄養・食生活の確立	子育て支援課 保健課	B B
④	子どもひろばなどの活用	子ども家庭課	B

【これまでの主な取組】

- ・ ①親子で遊びや運動に親しむプログラムの提供として、就学前の子どもと親を対象に「のびのびパーク」「親子エクササイズ」を実施しました。
- ・ ②幼児期の身体活動の促進として、保育園児の体力づくりや運動機能を促進するため楽しく身体を動かす活動を実施しました。また、望ましい食習慣形成を図るため必要な給食を提供しました。
- ・ ③幼児期からの望ましい栄養・食生活の確立として、食育講座にクイズなどを取り入れ「実践・参加型」とし、食育を身近なものとして実施しました。
- ・ ④子どもひろばなどの活用として、ひろば事業で「ホール遊び」、「ドッチビー」、「卓球」など積極的に身体を動かす遊びや運動を取り入れ実施しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○広く多くの方に利用できる企画にするための検証が必要。 ○保育園では、幼児の成長に必要な運動活動を提供した。 ○関係機関と連携し事業を行ったことにより、一定の成果につながっている。 ○子どもひろば事業では、子どもの自主性を尊重しながら積極的に身体を動かす遊びや運動を取り入れている。		○幼児期から様々なことを経験することが大切。各事業では成長過程で重要な「運動と食」に関してふれることができる点が良い。 ○一時の経験で終わらずより多くの子ども達が末永く経験できるとなお良い。	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ 幼児期の運動継続に向け親の世代に向けた堅苦しくなく気軽な講習等が必要です。

【今後の方向性】

- ・ 講座や講習の企画・実施、参加促進のための周知活動や情報発信を推進します。

(2) 子どもの体力向上

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	外遊びや歩くことなどによる運動習慣の形成	子育て支援課	B
②	運動やスポーツ体験機会の充実	健康スポーツ課	B
③	学童クラブ等でのニュースポーツの普及	健康スポーツ課	A
④	トップアスリートなどとの交流	健康スポーツ課	B
⑤	スポーツ少年団への加入促進支援	健康スポーツ課	B
⑥	保護者、教員、指導者向けの研修機会の充実	健康スポーツ課	—
⑦	丈夫な体をつくる栄養・食生活の推進	子育て支援課	B
		学校給食センター	B

【これまでの主な取組】

- ・ ①外遊びや歩くことなどによる運動習慣の形成として、幼児期から外遊びや歩くことなどによる運動習慣の形成を目指した活動を実施しました。
- ・ ②運動やスポーツ体験機会の充実として、小中学校を対象に初心者教室やジュニア教室などの各種スポーツ事業を企画・実施しました。
- ・ ③学童クラブ等でのニュースポーツの普及として、「島松コミュニティスクール」といった学校・PTA行事やクラブ活動でニュースポーツを体験する機会を企画・実施しました。
- ・ ④トップアスリートなどとの交流として、北海道ハイテク AC のコーチや所属選手の指導により、陸上競技の魅力を伝える機会を提供しました。
- ・ ⑤スポーツ少年団への加入促進支援として、スポーツ少年団一覧表を作成・配布したほか、年2回スポーツテスト会や交流会を開催しました。
- ・ ⑥保護者、教員、指導者向けの研修機会の充実として、スポーツ指導者研修会を実施しました。
- ・ ⑦丈夫な体をつくる栄養・食生活の推進として、保育園で成長に必要な栄養素を確保した献立により給食を提供しました。

【評 価】

担当課評価		審議会評価	
○ 幼児の成長に必要な運動活動を提供した。 ○ 小中学生を対象に様々なスポーツを体験する機会を提供し、生涯スポーツの芽を育むことができた。 ○ 小学校と連携してニュースポーツを体験する場を提供し、多くの児童が体験することができた。 ○ トップアスリートと触れ合う機会を提供した。 ○ 保育園給食で成長に必要な栄養素を確保した献立を作成し提供した。		○ 近年様々なスポーツイベントがあるが、身体を動かすことに苦手意識を持つ子は、そもそも参加する気持ちをつくるのが難しいと感じる。また、家庭の事情によって少年団やクラブチームへの加入ができない、スポーツイベントに参加できない子もいるため、今後は義務教育課程での取組がより必要と考える。	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ 体を動かすことに苦手意識を持つ子供や、家庭の都合で少年団やクラブチームへの加入ができない子どもの参加が難しくなっていると考えられることから、今後は義務教育課程との連携などによる取り組みが必要です。

【運動・スポーツに関するアンケート調査結果から】

問： 今後参加してみたいと思う健康や運動、スポーツに関する催しは何か。

「歩くことを通した健康・体力づくりを目的とした教室や講習会」 (24.2%)

「体力テスト」 (11.8%)、「レクリエーション的な事業」 (11.0%)

【今後の方向性】

- ・ アンケート結果より、歩くことを通した健康・体力づくりを目的とした教室や講習会へのニーズがあることから子どもを持つ親世代にも参加しやすい教室、イベントの開催等を推進していきます。
- ・ 受講者減少のため廃止した「スポーツ指導者研修会」にかわる、保護者、教員、指導者向けの研修機会の創出を図ります。

基本施策 I - 2 : 高齢者の健康づくりの推進

(1) 運動やスポーツへのきっかけづくり

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	ニュースポーツ体験機会の充実	健康スポーツ課	C
②	歩くなどの運動習慣につながる機会づくり	健康スポーツ課	A
③	栄養・食生活や運動などの各種事業の取組み	介護福祉課 保健課	A B

【これまでの主な取組】

- ・ ①ニュースポーツ体験機会の充実として、ニュースポーツ教室を3回実施しました。
- ・ ②歩くなどの運動習慣につながる機会づくりとして、歩くイベント（えにわ花ウォーク、えにわウォークラリー、冬のウォーキングセミナーほか）、まちなか休憩所の設置（39か所）、えにわ健康チャレンジ・スタンプラリーの実施により、運動へのきっかけづくりや気軽に楽しめる事業を実施しました。
- ・ ③栄養・食生活や運動などの各種事業の取組みでは、介護予防の一環として「老人健康ハイキング」や「老人福祉スポーツ大会」など高齢者の外出の機会づくりに取組みました。また、高齢者健康教育事業として、お風呂で健康講座を実施しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○歩くことが楽しくなる仕掛けづくり、歩くことを支援する仕組みづくり、健康づくりと融合したまちづくりの趣旨に沿って実施した結果、成果指標で示す参加人数、休憩所数など目標を上回った。 ○介護予防事業の一環で実施されており、自宅にこもりがちな高齢者の外出の機会をつくる事業であり、現状で目的は十分達成されているものと考えている。 ○「運動と入浴」については、会場が3か所から2か所と減少したが、参加数はおおむね良好である。		○歩くことを通して、運動やいろいろな角度から生活習慣病予防に取り組んでいる。 ○今後とも、運動・スポーツの意識の充実に図り、目的の達成と啓発に益々の努力をしていただきたい。 ○歩くことを通して健康意識や健康増進活動の向上につながっており参加者も年々増えていて良好である。 ○介護予防の一環としてハイキングやスポーツを通じて高齢者の外出機会を作る事業として目的は達成されている。	
A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ ニュースポーツを継続的に実施できる場が必要です。
- ・ 多くの市民に参加していただくために、参加者の動向や内容の検証のほか、多様な情報媒体を活用した周知や関係団体や協力団体との連携が必要です。
- ・ 参加者の高齢化により、安全面において協議内容等の見直しが必要です。

【今後の方向性】

- ・ 高齢化の延伸により、年齢に関わらず、気軽に楽しめる運動やスポーツを通じて、生活習慣病予防や介護予防となる事業を継続し推進します。

(2) 高齢者の健康づくり

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	住民主体による介護予防の普及啓発	介護福祉課	B
②	高齢者対象の健康や運動に関する広報活動の推進	保健課	B

【これまでの主な取組】

- ・ ①住民主体による介護予防の普及啓発として、「いきいき百歳体操サポーター養成講座」や「地域支え合い・地域づくり事業」など地域住民主体による介護予防の普及啓発を実施し、活動場所開設数やサポーター養成数は増加傾向にあります。
- ・ ②高齢者対象の健康や運動に関する広報活動の推進として、高齢者を対象とした恵庭市シニア向けポータルサイト「ウェルネススペースえにわ」を開設し、健康情報や運動スポーツ情報を定期的に掲載、情報発信を行いました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○活動の担い手不足や活動休止等の課題はあるが、住民主体の活動の場は、計画通り増加しており、目的はかなり達成されている。 ○アクセス数は目標を下回ったものの、介護予防事業等に関する情報を定期的に掲載し、情報発信していることから、目的はおおむね達成されている。		○目的を十分に達成されており、情報のアクセス数を上回っている。 ○サポーター養成数、活動場所開設数等は目標に達していて事業として概ね良好である。 ○ポータルサイトでの情報発信は概ね目的は達成されているが更なる市民への周知が必要。	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ 担い手不足や活動を休止する会場があり、長期継続的な支援が必要です。
- ・ 市民及び関係機関へのポータルサイト周知の強化やコンテンツの充実が必要です。

【今後の方向性】

- ・ 地域における介護予防活動や普及啓発を担う人材を関係団体等と連携し、育成支援を行います。また、高齢者対象の運動・スポーツに関する情報を広報等の紙媒体に加え、近年高齢者にも利用者が多いインターネット媒体を活用し、高齢者に効果的な広報活動を推進します。

基本施策 I - 3 : 気軽に参加できる多様な機会の充実

(1) 活動的な生活習慣へのきっかけづくり

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	日常生活の中で意識して体を動かすことの啓発	保健課 健康スポーツ課	A
②	生活習慣病予防のための情報の提供	保健課 健康スポーツ課	A
③	年齢や健康状態に応じた相談体制の充実	保健課 健康スポーツ課	A

【これまでの主な取組】

- ・ ①日常生活の中で意識して体を動かすことの啓発として、健康・スポーツ以外の異なる分野と組み合わせた楽しさを体感できる歩くイベントの実施や市内各所に設置した「まちなか休憩所」での健康情報の提供、「えにわ健康チャレンジ・スタンプラリー」を実施し、健康づくり無関心層への健康意識の啓発を図りました。
- ・ ②生活習慣病予防のための情報の提供及び③年齢や健康状態に応じた相談体制の充実として、健康づくり講演会や出前講座、検診結果説明会、がん予防普及啓発、パネル展、健康相談を実施しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○歩くことが楽しくなる仕掛けづくり、歩くことを支援する仕組みづくり、健康づくりと融合したまちづくりの趣旨に沿って実施した結果、成果指標で示す参加人数、休憩所数など大きく目標を上回った。 ○国の健康づくりのための身体活動指針に基づき、個人の健康状態に応じ相談対応している。		○「恵庭歩く人達の会」、「楽々歩こう会」、「フットパス愛好会」と三つあり、それぞれが楽しく健康づくりを行っており目的は十分達成されている。 ○歩くことを通して健康意識や健康増進活動の向上に多くの市民が参加しており成果がでている。 ○健康に対しての正しい知識の普及啓発や個人の健康相談に対応しており目的が達成されている。	
A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・働き世代への周知が必要です。

【今後の方向性】

- ・運動、スポーツに関心の低い人に向けて、他分野との連携・協力を図り、誰もが運動やスポーツの有効性や楽しさに気づくきっかけとなるような取組みを継続し、事業を推進します。

(2) 気軽に参加できる身近な運動やスポーツ機会の提供

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	歩くことによる健康づくり事業の推進【再掲】	健康スポーツ課	A
②	ニュースポーツ体験機会の充実【再掲】	健康スポーツ課	A
③	気軽に参加できるプログラム等の充実	健康スポーツ課	A
④	初心者スポーツ教室などの充実	健康スポーツ課	A
⑤	高齢者も参加しやすいプログラムの充実	介護福祉課 健康スポーツ課	A
⑥	障がいのある人への運動やスポーツの普及啓発	障がい福祉課 健康スポーツ課	A
⑦	施設などへのアクセス向上による運動・スポーツへの参加促進	健康スポーツ課	D

【これまでの主な取組】

- ・①歩くことによる健康づくり事業の推進として、歩くイベント（えにわ花ウォーク、えにわウォークラリー、冬のウォーキングセミナーほか）、まちなか休憩所の設置（39か所）、えにわ健康チャレンジ・スタンプラリーの実施により、運動へのきっかけづくりや気軽に楽しめる事業を実施しました。
- ・②ニュースポーツ体験機会の充実として、えにわ健康スポーツフェスティバルの中でニュースポーツ体験イベントを開催しました。
- ・③気軽に参加できるプログラム等の充実として、総合体育館で指定管理者の自主事業で「フィットネスエクササイズ」、「ヨガ教室」、軽スポーツ等の「実技指導」を開催しました。
- ・④初心者スポーツ教室などの充実として、指定管理者の自主事業で「ヨガ教室」や「バレトン教室」、「ZUNMBA」などのスポーツ教室を実施しました。
- ・⑤高齢者も参加しやすいプログラムの充実として、指定管理者の自主事業で「フィットネスエクササイズ（58回）」、「卓球指導（45回）」、「スポンジテニス指導（37回）」、「はじめてのヨガ（42回）」などの実技指導を中心とした軽スポーツ教室を実施しました。

- ・ ⑥障がいのある人への運動やスポーツの普及啓発として、「えにわトリム&ラン」、「スポパラinえにわ」を実施しました。
- ・ ⑦施設などへのアクセス向上による運動・スポーツへの参加促進として、市民スキー場へ送迎バスを運行しました。

【評 価】

担当課評価		審議会評価	
○えにわ健康スポーツフェスティバルの中で、幼児から高齢者までがニュースポーツを体験することができた。 ○総合体育館で年間を通して誰でも気軽に参加できる事業や、市民のニーズに応じた各種スポーツ教室を開設し、生涯スポーツの推進を図った。 ○パラリンピックへの理解を深める事業を開催した。 ○雪不足による市民スキー場等の開設期間が大幅に縮小したが目的は達成された。		○健康スポーツ課の努力により、健康・スポーツで気軽に参加しフェスティバルを通して充実し、達成されている。 ○えにわ健康スポーツフェスティバルの中で各年代が気軽にスポーツを体験することができている。 ○市民のニーズに応じたスポーツ教室を年間通して開催し目的が達成されている。 ○パラスポーツを周知啓発する事業として目的が達成されている。	
A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ 内容の充実や魅力を更に深めていくための事業内容の検討や周知方法が必要です。

【今後の方向性】

- ・ 年齢や性別、体力や障がいの有無に関わらず、誰もが運動・スポーツを楽しめる環境をつくるとともに、運動・スポーツを通じた共生社会の実現を目指し、障がい者スポーツの普及促進にこれまで以上に取組めます。

(3) 子育て世代・働き盛り世代への運動やスポーツの機会づくり

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	子育て世代が参加しやすいプログラムの提供	子育て支援課	A
②	親子でできる運動や遊びプログラムの提供	子育て支援課	B
③	働き盛り世代が参加しやすいプログラムの提供	子育て支援課	B

【これまでの主な取組】

- ・ ①子育て世代が参加しやすいプログラムの提供として、子育て支援センター事業で、施設内のホールや公園など活用し親子で気軽に運動を楽しむことができる場を提供しました。

- ・ ②親子でできる運動や遊びプログラムの提供として、親子で共に身体を動かす「親子エクササイズ」を実施しました。
- ・ ③働き盛り世代が参加しやすいプログラムの提供として、働く家庭にも利用していただけるよう、子育て支援センターの「土曜日・日曜日開設」や「サンデーパパ」など開催し、多様な機会の拡大を図りました。

【評 価】

担当課評価		審議会評価	
<ul style="list-style-type: none"> ○親子の希望に合わせて楽しむことができるように遊具などにより、楽しむ機会の提供することができた。 ○企画に人数の制限があるため、広く、多くの方に利用できる企画にするための検討が必要。 ○家族の過ごし方も多様化しており、働くスタイルも様々であり、的確にニーズを把握し、対応していく必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ○様々なニーズを把握し、可能な範囲でより良いものを提供することは難しいが、ニーズに合わせた活動の変化が読み取れる。 ○実績の低下が見られた「サンデーパパ」に関しても、休日に別の場所(屋外など)で活動する家庭が増えているのか、そもそも親子の活動そのものが減ってしまっているのか。 	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【運動・スポーツに関するアンケート調査結果から】

問：運動・スポーツをしたいと思ってもできなかった理由は何か。

- 「仕事や家事が忙しくて時間がとれない」、「加齢により体力に自信がない」、「運動・スポーツは嫌いではないが積極的になれない」、「仕事や家事の疲れから」

【課題】

- ・ 多様化するライフスタイルや市民のニーズを的確に把握し、対応していく必要があります

【今後の方向性】

- ・ 子育て世代や働き盛り世代を対象としたプログラムに対し市民のニーズを把握し実施することや、自宅や子育て中、通勤中など、日々の生活において行うことができる運動習慣、気軽に取り組める環境の整備を推進します。

(4) 多様な運動やスポーツの継続支援

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	各種運動プログラムやスポーツ教室の充実	健康スポーツ課	A
②	各種スポーツ大会の開催	健康スポーツ課	A

【これまでの主な取組】

- ・ ①各種運動プログラムやスポーツ教室の充実として、総合体育館で指定管理者の自主事業で「フィットネスエクササイズ」、「ヨガ教室」、軽スポーツ等の「実技指導」を開催しました。
- ・ ②各種スポーツ大会の開催として、「市民駅伝大会」、卓球やソフトテニス、バトミントンなど15競技の「市民大会」を実施しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○総合体育館で年間を通して誰でもが気軽に参加できる事業や、市民のニーズに応じた各種スポーツ教室を開設し、生涯スポーツの推進に努めた。 ○体育協会や体育協会加盟団体が各種市民スポーツ大会を開催し、スポーツの普及と競技レベルの向上を図った。		○恵庭市民の総合体育館の利用が多いことに驚く。各事業の取組の成果が出ているのだと感じる。 ○種目の専門化(1種目主義)が早くなっており、学童期にはもっと幅広く、違う仲間と、様々な活動をする場も設けていければ。その結果、種目を絞る時期になった際により良い活動が出来る、バーンアウトを減らすことが出来る、そんな風潮が高まれば。	
A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ 継続的实施のための指導者の確保が課題です。

【今後の方向性】

- ・ 地域や各種競技団体と協力しながら、教室や大会の開催を奨励し、継続したスポーツ活動を支援します。

(5) アウトドア・ウィンタースポーツの振興

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	アウトドアスポーツの普及推進	健康スポーツ課	—
②	ウィンタースポーツの普及推進	健康スポーツ課	D

【これまでの主な取組】

- ・ ①アウトドアスポーツの普及推進として、スポーツ推進員の自主事業として「市民ハイキング」を開催しました。
- ・ ②ウィンタースポーツの普及推進として、市民スキー場リニューアルや市民スケート場の運営、歩くスキーコースの整備を行いました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○市民スキー場・スケート場ともに例年がない雪不足、天候不順により開設期間が遅れ、また、スキー場においては感染症拡大防止策として早期に閉鎖したことから大幅な利用者減となった。 ○恵庭クロスカントリースキー大会も直前まで開催に向けて準備を整えてきたが、雪不足により中止に至った。		○雪不足及び新型コロナウイルス感染拡大防止の為、結果的には大会中止や開設期間短縮で利用者大幅減少となったが、天災の影響であり例年通りの状況であれば活動としては下記評価とする。 ○例年がない雪不足だった状況では、致し方ない考える。	
C	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	C	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【運動・スポーツに関するアンケート調査結果から】

問1 この1年間に健康のためどのようなスポーツを行いましたか。

「ウォーキングや散歩など（ノルディックウォーキング）」、「体操」、「ランニング・ジョギング」、自転車・サイクリング

問2 今後市としてどのような取組みが必要ですか。

「ウォーキングやジョギングができる道路整備」、「子どもの体力の向上」、「スポーツ施設の整備」、「利用しやすい施設管理」、「高齢者の生きがいづくり」、「歩くことを通した健康・体力づくり事業の充実」

【課題】

- ・ アウトドアスポーツについて、新たな事業内容の検討が課題です。
- ・ ウィンタースポーツについては、利用者が減少傾向にあり、利用者拡大に向けた方策が課題です。

【今後の方向性】

- ・ 事業を引き続き継続しながら、市民誰もが気軽に取り組めるような工夫に取り組み、参加者減少のため廃止した「市民ハイキング」にかわる新たなアウトドアスポーツ事業の創出を図ります。

基本方針Ⅱ 運動やスポーツ活動を支える環境づくり

基本施策Ⅱ－１：地域の運動やスポーツ活動の充実

(1) 地域で活動する団体などへの支援・連携強化

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	体育協会への支援や連携の強化	健康スポーツ課	A
②	スポーツ少年団活動への支援	健康スポーツ課	B
③	競技団体などへの育成支援	健康スポーツ課	A
④	各種競技団体が主管する全国大会などの開催支援	健康スポーツ課	—
⑤	総合型地域スポーツクラブとの連携	教育総務課 健康スポーツ課	B B
⑥	地域団体などにおける運動やスポーツの推進	健康スポーツ課	B

【これまでの主な取組】

- ・ ①体育協会への支援や連携の強化として、体育協会へ事業費補助を行うとともに、運動・スポーツに取り組む加盟団体数の拡大を図りました。
- ・ ②スポーツ少年団活動への支援として、体育協会を通して事業費補助を行いました。
- ・ ③競技団体などへの育成支援として、体育協会加盟団体による協議の普及・振興を図る講習会や研修会、教室の開催に伴う事業費補助を行いました。
- ・ ④各種競技団体が主管する全国大会などの開催支援として、平成29年に「第71回全国レクレーション大会in北海道（ふれあいフェスティバル全国大会）」の特別協賛種目としての車いすレクダンスを本市で開催しました。
- ・ ⑤総合型地域スポーツクラブとの連携として、北海道ハイテクACアカデミーと連携し、講習会やスポーツの楽しさや各団体の指導者が指導方法を学ぶ機会の提供、小学校体育授業の支援事業を実施しました。
- ・ ⑥地域団体などにおける運動やスポーツの推進として、出前講座を通じ、誰でも気軽に参加できるスポーツである「ニュースポーツ」の実技指導を、各地域団体求めに応じて実施しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○体育協会や加盟団体、スポーツ少年団の支援と連携を図っている。 ○総合型地域スポーツクラブ（ハイテク A C アカデミー）と連携し、小学校に体育授業への指導者の派遣を通して、スポーツの楽しさや教員の指導方法を学ぶ機会を提供することができた。 ○出前講座による指導員派遣事業を多くの会場で開催することができた。		○体力向上や身体活動への意欲向上に向け、より幅広い年代（園児や中学生など）に対象を広げ、より均等な活動の場の提供が必要になってくると思う。	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・各加盟団体や少年団は少子高齢化の影響により会員の減少傾向が見られ、会員拡大に向けた改善策や組織体制の強化が課題です。

【今後の方向性】

- ・会員拡大に向け、体育協会や教育委員会、総合型地域スポーツクラブと連携し、効果的な情報発信や取組みの周知など相互に連携できる体制の構築を推進します。

(2) 活動を支える人材の養成・確保

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	指導者の発掘と研修機会の拡充	健康スポーツ課	—
②	スポーツ推進委員やスポーツ指導員による地域スポーツ活動の拡充	健康スポーツ課	B
③	運動やスポーツに関わる人材と地域との連携の強化	健康スポーツ課	B
④	スポーツボランティアの意識啓発	健康スポーツ課	—
⑤	健康や運動・スポーツ情報の充実（再掲）	健康スポーツ課	B

【これまでの主な取組】

- ・①指導者の発掘と研修機会の拡充として、スポーツ指導者研修会を実施しました。
- ・②スポーツ推進委員やスポーツ指導員による地域スポーツ活動の拡充、③運動やスポーツに関わる人材と地域との連携の強化、④スポーツボランティアの意識啓発として、スポーツ推進委員やスポーツ指導員がニュースポーツの体験事業を地区会館や小学校・公共施設などで開催しました。

- ・ ⑤健康や運動・スポーツ情報の充実として、ポータルサイトを作成し「いきいき百歳体操」などの健康・運動に関する情報をシニア世代に向け発信しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ推進委員やスポーツ指導員によるニュースポーツの体験事業を多くの会場で開催することができた。 ○今後、スポーツの振興を図るうえでスポーツボランティアの育成が急務である。 ○アクセス数は目標を下回ったものの、介護予防事業等に関する情報を定期的に掲載し、情報発信していることから、目的はおおむね達成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○継続してスポーツ活動の普及を図るには、短期的なプログラムの他に、独自の大会を開くなど、成果披露の場が必要になると考える。 ○シニア世代に関しても、シニアが取り組める競技の大会を増やすことにより、活発に事業を行うことが出来るのではないかと考える。 	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ PR活動をさらに充実させ、参加者の拡大を図ることが課題です。
- ・ 「えにわ・健康スポーツフェスティバル」や「恵庭クロスカントリースキー大会」、競技スポーツの大会運営などの地域スポーツの振興や体験事業、スポーツボランティアを継続的に開催するにあたり、人材の発掘や育成が課題となっています。

【今後の方向性】

- ・ ニュースポーツ体験機会の提供に向け、指導者の養成・確保及び高齢者がニーズに即した情報を得られるよう適切な情報発信を推進します。
- ・ 受講者減少のため廃止した「スポーツ指導者研修会」にかわる、指導者向けの研修機会の創出を図ります。

基本施策Ⅱ－２：競技力の向上

(1) ジュニア期からの競技力向上

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	地元トップアスリート・競技者による指導機会の拡充	健康スポーツ課	B
②	学校部活動などへの専門指導者派遣支援	教育総務課 健康スポーツ課	—
③	選手育成事業などへの支援	健康スポーツ課	A
④	競技指導者などの養成・指導力向上のための研修機会の確保	健康スポーツ課	—
⑤	競技スポーツに必要な栄養・食生活に関する情報の提供	健康スポーツ課	—
⑥	高等教育機関などからのスポーツ医・科学情報の提供	健康スポーツ課	—

【これまでの主な取組】

- ・ ①地元トップアスリート・競技者による指導機会の拡充、③選手育成事業などへの支援として、北海道ハイテクACアカデミーのコーチや所属選手による陸上教室や、市・体協・セガサミーの3者による連携事業であるスポーツ教室、オリンピックによる講演会などプロ選手やトップアスリートからの指導機会を提供し、市内の競技スポーツのレベル向上に向けた事業を実施しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○地元のトップアスリートや指導者から直接指導を受けることができることにより、子供たちに夢を育む機会を提供することができた。 ○トッププレーヤーに直接指導を受ける機会を通して、選手の育成を図った。 ○指導者の育成やスポーツ医科学等の情報の提供に努めていく必要がある。		○活動内容を評価します。 ○今後、コロナ対策を含め、競技指導者の指導力の向上を図るなど、支援体制のさらなる充実を図ることが必要である。	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ 競技指導者の指導力向上や育成、スポーツ医科学など各種情報の提供といった支援体制の充実が課題です。

【今後の方向性】

- ・市内競技力向上及び地域スポーツの活性化に向け、魅力的なイベントや事業実施を推進します。

(2) 優秀競技者などへの支援

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	国際・全国大会などの出場者への支援	健康スポーツ課	B
②	優秀競技者などの顕彰	健康スポーツ課	A

【これまでの主な取組】

- ・スポーツ振興基金を活用し市内の全道・全国大会出場者に対し支援を行いました。
- ・全国大会の成績優秀者や、長年にわたり指導者や役員としてスポーツ振興に貢献した方を「恵庭市スポーツ功労者」として顕彰しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○スポーツ振興基金を活用し、全道・全国大会出場に際し、支援を図った。 ○全国大会等で優秀な成績を収めた選手や長年にわたり指導者又は役員としてスポーツ振興に貢献した方を顕彰している。		○活動を評価します。 ○顕彰事業の充実が図られている。	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・表彰式が11月3日の文化の日であることから、それ以降に実績を残した場合は次年度に対象となり、ウインタースポーツを行っている高校3年生などは卒業してしまうため表彰できないことがあり課題です。
- ・補助要綱に則りスポーツ振興基金を活用して、定額の補助金を支出しているが、補助額が十分でないとの意見もあります。

【今後の方向性】

- ・競技団体の意向を調査・把握し、支援や顕彰を機に更に活躍できる環境整備を推進します。

基本方針Ⅲ 運動やスポーツを楽しむ環境づくり

基本施策Ⅲ－1 : 運動やスポーツに関する情報提供の充実

(1) 情報の収集・発信

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	各種情報の収集を目的とした各関係機関などの情報共有体制の構築	健康スポーツ課	—
②	多様な媒体を活用した情報の発信	介護福祉課 健康スポーツ課	B
③	健康や運動・スポーツ情報の充実	介護福祉課 健康スポーツ課	B

【これまでの主な取組】

- ・ ①多様な媒体を活用した情報の発信として、健康や運動・スポーツに関する情報について市広報・市ホームページ・各種パンフレット・地域FM・地域情報誌など様々な媒体を用い情報を発信しました。また関係機関の情報についても、ICT（SNSほか）等各種手段を通じ情報共有を実施しました。
- ・ ②健康や運動・スポーツ情報の充実として、フェイスブックやインスタグラム等を活用し、情報収集・発信の多様化に取り組みました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○アクセス数は目標を下回ったものの、介護予防事業等に関する情報を定期的に掲載し、情報発信していることから、目的はおおむね達成されている。		○十分にアクセス数の目的を達成されており、各種情報の収集の機能を達成されているものと思慮する。 ○介護予防事業等に関する情報を定期的に掲載している。 ○アクセス数を増やしていくための周知が必要。	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ コンテンツの充実、アクセス数をより一層伸ばす方策を講じることが課題です。
- ・ 全ての市民がデジタル通信に精通している訳ではなく、今後このような方への情報発信の充実も課題です。

【今後の方向性】

- ・LINEや各種アプリ、YouTubeの活用について検討しながら情報の収集発信に取り組めます。

(2) スポーツ観戦の機会づくり

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	スポーツ観戦の推進	健康スポーツ課	—
②	トップアスリートとの交流の機会づくり	健康スポーツ課	B
③	市民と一体となって行う応援活動の推進	健康スポーツ課	—

【これまでの主な取組】

- ・①スポーツ観戦の推進として、平成29年に「大相撲恵庭場所」や各種スポーツイベントの開催など、スポーツ観戦を行いました。
- ・②トップアスリートとの交流の機会づくりとして、セガサミーによるスポーツ振興事業と連携しスポーツ教室の開催のほか、北海道ハイテクACのコーチや元トップアスリートの指導による「かけっこ・陸上教室」を開催し、レベルの高い技術やテクニックに触れる機会を提供しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
<ul style="list-style-type: none"> ○トッププレーヤーに直接指導を受ける機会を通して選手の育成を図った。 ○地元のトップアスリートや指導者から直接指導を受けることができることにより、子供たちに夢を育む機会を提供することができた。 		<ul style="list-style-type: none"> ○活動を評価します。 ○トッププレーヤーに直接指導を受ける機会を通して選手の育成を図った。 ○地元のトップアスリートや指導者から直接指導を受けることができることにより、子供たちに夢を育む機会を提供することができた。 	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・参加者拡大のため実施時期や会場、事業内容の再検討が必要です。

【今後の方向性】

- ・関係機関・団体などのネットワークをフル活用し、積極的に情報収集を実施することで事業に協力可能な個人・団体の発掘へ繋げ、スポーツ観戦の機会拡大やトップアスリートとの交流機会の場の提供へ展開します。

基本施策Ⅲ－２：スポーツ施設及び関連施設の充実

(1) 施設の有効活用

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	歩くことで健康を意識でき、快適さを味わうことができる環境づくりの推進	健康スポーツ課	A
②	学校スポーツ施設の活用	教育総務課 健康スポーツ課	B
③	スポーツ施設の有効活用の促進	健康スポーツ課	A

【これまでの主な取組】

- ・ ①歩くことで健康を意識でき、快適さを味わうことができる環境づくりの推進として、「歩くことを通したまちづくり事業」で「歩くイベントの開催」や「まちなか休憩所の設置」、「健康チャレンジ・スタンプラリー」の実施など市民が気軽に歩くことができる環境を整え、健康増進に取り組みました。
- ・ ②学校スポーツ施設の活用として、市内小中学校の体育館を希望する団体に開放し、地域スポーツの振興を図りました。
- ・ ③スポーツ施設の有効活用の促進として、福住屋内運動広場をテニスやフットサル、野球の屋内練習場として開放し有効的に活用しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○健康づくりと融合したまちづくりの趣旨に沿って実施した結果、参加人数、休憩所数など大きく目標を上回った。 ○小中学校の体育館を市民団体に開放し、地域スポーツの振興を図っている。 ○市民ニーズに応じた施設改修に努め、スポーツ施設の有効活用を図っている。		○活動を評価します。 ○市内小中学校の体育館を開放し、地域スポーツの振興を図っている。	
A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ 取組内容がマンネリ化せず、長期的に事業を継続していくための方策が必要です。
- ・ 冬期間は屋外スポーツの屋内利用が多いことから利用調整が課題です。
- ・ 指定管理者による自主事業により、更なる施設の特徴を生かした施設の活用が課題です。

【今後の方向性】

- ・「冬のウォーキングセミナーの開催」や「冬の歩くコース」の開設など、冬に着目した「歩くことをとおしたまちづくり」をさらに推進し、一年を通して歩くことを楽しむための環境づくりを推進します。
- ・飽和状態にある学校体育館利用の改善を図るため、福住屋内運動広場の周知 PR を図ることで利用の分散化を図ります。
- ・福住屋内運動広場については、学校開放利用者の分散化による利用者増を図るとともに、指定管理者による新たな自主事業への活用を促すため、常に情報交換や情報共有を行い、新たな事業展開を図ります。

(2) 計画的な施設管理の推進

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	既存スポーツ施設の整備・改修の推進	健康スポーツ課	C
②	通年型屋外スポーツ施設の整備	健康スポーツ課	D
③	利用しやすい施設使用料などの検討	健康スポーツ課	A

【これまでの主な取組】

- ・①既存スポーツ施設の整備・改修の推進として、既存施設の老朽化や経年劣化が著しい中、施設管理者と優先的に整備及び改修が必要な箇所について協議を行い、安心・安全に施設利用が出来るよう計画的な維持管理を行っています。
- ・②通年型屋外スポーツ施設の整備として、民間活力に向けてサウンディング市場調査を行いました。
- ・③利用しやすい施設使用料などの検討として、社会実情を考慮し見直しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○施設の老朽化が進む中、安心・安全に施設利用できるよう計画的な維持管理に努めている。 ○既存施設の整備や更新計画のほか、通年型屋外スポーツ施設の整備に関する方向性を早急に検討する必要がある。 ○全庁的に施設使用料の改正を行った。		○既存施設について評価する(62.64) ○通年型屋外スポーツ施設についての方向性についてはコンセプトを明確にして進めて戴きたい。 ○通年型屋外スポーツ施設の方向性について今後も十分な検討が必要と思われる。	
C	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	C	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・突発的な故障やトラブル等が発生し計画どおり進まない場合もあり、限られた財源の中におけるきめ細やかな対応が課題です。
- ・通年型スポーツ施設の整備は、市民ニーズに対応するための既存施設の計画的改修や整備との一体的な推進を図ることが重要であり、今後の方向性を明確にするためには市民や関係機関・団体、指定管理者等幅広く連携を図りながら、より深い議論及び検討を進めていくことが必要です。

【今後の方向性】

- ・施設改修に係る施設修繕計画を策定するとともに、スポーツ振興基金の計画的な活用について検討します。
- ・通年型スポーツ施設の整備は、民間活力にむけて、事業者から意見や情報を収集します。
- ・各種目ごとに定められているガイドラインを考慮しながら、北海道や関係機関及び市関係部署などと連携した感染症対策を実施し、利用促進に向けた環境づくりに取り組んでいきます。

成果指標の達成度

計画に掲げている成果指標数値目標の達成度は、下記のとおりとなっており、概ね目標は達成されているところです。

成 果 指 標	進 捗 状 況	
	基準年度の状況 (平成26年度)	中間年度の状況 (令和元年度)
子どもが体育の授業以外で運動やスポーツを週1回以上実施している割合 *1	75%	—
健康である・どちらかといえば健康であると感じている人の割合 *2	78%	81%
成人が運動やスポーツを週3回以上実施している割合 *2	30%	34%
散歩やウォーキングなどを行っている人の割合 *2	18%	23%
競技スポーツを行っている人の割合 (体育協会登録会員数) *3	18% (2,506人)	— (2,152人)
国際・全国大会出場者の拡充 *4	延べ142個人 延べ 24団体	延べ 250個人 延べ 23団体

- *1 「全国学力体力・運動能力、運動習慣等調査」(文部科学省)の設問が変更となったため、数値は不明
- *2 「令和2年度運動・スポーツに関するアンケート調査」結果
- *3 「令和2年度運動・スポーツに関するアンケート調査」項目を変更したため、数値は不明のため、参考値として体育協会の登録会員数で比較
- *4 令和元年度全道大会等派遣費補助金交付者数

恵庭市運動・スポーツ推進計画総合評価の推移（平成28年度～令和元年度）

資料2

*総合評価：恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会委員による中項目別評価

基本理念	基本方針	基 本 策				総 合 評 価			
		大 項 目	中 項 目	No.	小 項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
夢と健康を育むまち 「健康・スポーツコミュニティ えにわ」	I 運動やスポーツを通じた健康の保持推進	1 子どもの運動やスポーツ活動の推進	(1) 幼児期からの遊びや運動の習慣づくり	01	親子で遊びや運動に親しむプログラムの提供	B	B	B	B
				02	幼児期の身体活動の促進				
				03	幼児期からの望ましい栄養・食生活の確立				
				04	子どもひろばなどの活用				
		(2) 子供の体力向上	05	外遊びや歩くことなどによる運動習慣の形成	B	B	B	B	
			06	運動やスポーツ体験機会の充実					
			07	学童クラブ等でのニュースポーツの普及					
			08	トップアスリートなどとの交流					
			09	スポーツ少年団への加入促進支援					
			10	保護者、教員、指導者向けの研修機会の充実					
			11	丈夫な体をつくる栄養・食生活の推進					
		2 高齢者の健康づくりの推進	(1) 運動やスポーツへのきっかけづくり	12	ニュースポーツ体験機会の充実	A	A	A	A
	13		歩くなどの運動習慣につながる機会づくり						
	3 気軽に参加できる多様な機会の充実	(2) 高齢者の健康づくり	14	栄養・食生活や運動などの各種事業の取り組み	B	B	B	B	
			15	住民主体による介護予防の普及啓発					
		(1) 活動的な生活習慣へのきっかけづくり	16	高齢者対象の健康や運動に関する広報活動の推進	B	A	A	A	
			17	日常生活の中で意識して体を動かすことへの啓発					
			18	生活習慣予防のための情報の提供					
			19	年齢や健康状況に応じた相談体制の充実					
			20	歩くことによる健康づくりの事業の推進					
			21	ニュースポーツ体験機会の充実					
		(2) 気軽に参加できる身近な運動やスポーツ機会の提供	22	気軽に参加できるプログラム等の充実	B	B	A	A	
			23	初心者スポーツ教室などの充実					
		(3) 子育て世代・働き盛り世代への運動やスポーツの機会づくり	24	高齢者も参加しやすいプログラムの充実	B	B	B	B	
			25	障がいのある人への運動やスポーツの普及					
		(4) 多様な運動やスポーツの継続支援	26	施設などへのアクセシビリティ向上による運動・スポーツへの参加促進	A	A	A	A	
27			子育て世代が参加しやすいプログラムの提供						
(5) アウトドア・ウィンタースポーツの振興	28	親子でできる運動や遊びプログラムの提供	A	A	A	A			
	29	働き盛り世代が参加しやすいプログラムの提供							
II 運動やスポーツを通じた健康の保持推進	1 地域の運動やスポーツ活動の充実	(1) 地域で活動する団体などへの支援・連携強化	30	各種運動プログラムやスポーツ教室の充実	B	B	A	B	
			31	各種スポーツ大会の開催					
			32	アウトドアスポーツの普及推進					
			33	ウィンタースポーツの普及推進					
			34	体育協会への支援や連携の強化					
			35	スポーツ少年団活動への支援					
			36	競技団体などへの育成支援					
			37	各種競技団体が主管する全国大会などの開催支援					
			38	総合型地域スポーツクラブとの連携					
	39	地域団体などにおける運動やスポーツの推進							
	(2) 活動を支える人材の養成・確保	40	指導者の発掘と研修機会の拡充	C	C	C	B		
		41	スポーツ推進委員やスポーツ指導員による地域スポーツ活動の拡充						
		42	運動やスポーツに関わる人材と地域との連携の強化						
		43	スポーツボランティアの意識啓発						
44		健康や運動・スポーツ情報の充実							
2 競技力の向上	(1) ジュニア期からの競技力向上	45	地元トップアスリート・競技者による指導機会の拡充	D	C	C	B		
		46	学校部活動などへの専門指導者派遣支援						
		47	選手育成事業などへの支援						
		48	競技指導者などの養成・指導力向上のための研修機会の確保						
		49	競技スポーツに必要な栄養・食生活に関する情報の提供						
		50	高等教育機関などからのスポーツ医・科学情報の提供						
		51	国際・全国大会などの出場者への支援						
		52	優秀競技者などの顕彰						
(2) 優秀競技者などへの支援	53	各種情報の収集を目的とした各関係機関などとの情報共有体制の構築	A	A	A	A			
	54	多様な媒体を活用した情報の発信							
III 運動やスポーツを通じた健康の保持推進	1 運動やスポーツに関する情報提供の充実	(1) 情報の収集・発信	55	健康や運動・スポーツ情報の充実	D	D	C	B	
			(2) スポーツ観戦の機会づくり	56					スポーツ観戦の推進
				57					トップアスリートの交流の機会づくり
	2 スポーツ施設及び関連施設の充実	(1) 施設の有効活用	58	市民と一体となって行う応援活動の推進	B	B	B	A	
			59	歩くことで健康を意識でき、快適さを味わうことができる環境づくりの推進					
			60	学校スポーツ施設の活用					
(2) 計画的な施設管理の推進	61	スポーツ施設の有効活用の推進	B	C	C	C			
	62	既存スポーツ施設の整備・改修の推進							
	63	通年型屋外スポーツ施設の整備							
	64	利用しやすい施設使用料などの検討							

恵庭市運動・スポーツ推進計画中間見直しに係るアンケート一式

(設問及び結果)

■調査の実施概要

1. 調査の目的

本市の新たなスポーツの推進計画を検討するにあたり、市民の運動・スポーツ及び健康に関する考え方やニーズを把握するとともに、本計画策定の参考にするため、市民の意見・要望を聴取するアンケート調査を実施した。

2. 調査対象

16歳以上（高校生）の市民2,000人無作為抽出。

3. 調査期間

令和2年7月1日～7月31日（※前回 平成26年12月）

4. アンケート配布・回収方法

郵送により配布し、返信用封筒にて郵送で回収する。

5. 回収状況

①有効回収数 741人（男性 335人, 女性 386人, 未回答20人）

※前回 858人（男性 372人, 女性 486人）

②有効回収率 37.1%

※前回 42.9%

運動・スポーツに関するアンケート調査

日ごろから市民の皆様には、市政の運営に多大なご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび市では、「恵庭市運動・スポーツ推進計画」の後期5ヵ年計画を策定するにあたり、広く皆様のご意見やご要望を把握し、計画策定の参考にさせていただきたいと考え、本調査を実施することといたしました。

ご回答いただいた内容は、統計の目的以外には使用せず、また個別に公表することはありません。

皆様には、お忙しい中お手数をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

令和2年7月

恵庭市長 原田 裕

ご記入にあたってのお願い \ \ \

- 回答は、あてはまる項目の番号を選び、○で囲んでください。
なお、該当するものを複数選んでいただく回答では、「3つまで」「すべて」などのような選択できる数が指定されている場合がありますので、ご注意ください。
- 回答に迷う場合は、あなたのご意見・お考えにできるだけ近いものを選んでください。

この調査票での

「運動・スポーツ」とは、

勝敗や記録を競ういわゆる「競技スポーツ」だけでなく、健康のためや趣味として行うスポーツ、軽い運動や体操、あるいは自然に親しむ野外活動やレクリエーションなどにいたるまで、すべての活動を幅広く捉えます。

健康のために散歩をしたりラジオ体操を行うなど、健康を意識して身体を動かすものであれば、すべて「運動・スポーツ」として捉えてください。

●投函期限：7月31日

この用紙ごと、同封の返信用封筒にて切手はらずにご投函ください。

〈調査についてのお問合せは、下記へお願いいたします。〉

恵庭市保健福祉部健康スポーツ課

住所：恵庭市緑町2丁目1-1 えにあす2階

電話：0123-25-5727

※本調査の対象者は、6月1日末現在の情報を基に作成しております。

問1 ①あなたの性別を教えてください。

- 1 男性 2 女性

②あなたの年齢は、次のどれにあたりますか？

- 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代
6 60代 7 70代 8 80代以上

③あなたのお住まいの小学校区域は、次のどれにあたりますか？わからない場合は、お近くの小学校名から選んでください。

- 1 恵庭小校区 2 島松小校区 3 柏小校区 4 和光小校区
5 松恵小校区 6 若草小校区 7 恵み野小校区
8 恵み野旭小校区

④あなたは、この1年間に働いていましたか？

《1つ選択》

- 1 働いていない 2 学生
3 働いている・働いていた（フルタイムで）
4 働いている・働いていた（パートタイマーで）

問2 ①あなたは現在、ご自身の健康状態をどう思われていますか？

《1つ選択》

- 1 健康である 2 どちらかといえば健康である
3 どちらかといえば健康ではない 4 健康ではない 5 わからない

②あなたは現在、ご自身の体力についてどう思われていますか？

《1つ選択》

- 1 自信がある 2 どちらかと言えば自信がある
3 どちらかと言えば自信がない 4 自信がない 5 わからない

③あなたは現在、運動不足を感じますか？

《1つ選択》

- 1 大に感じる 2 少し感じる 3 あまり感じない
4 ほとんど（まったく）感じない 5 わからない

④あなたは、日頃から健康や体力維持のために心がけていることはありますか？

《3つまで選択》

- 1 睡眠や休養をできるだけとる 2 規則正しい生活を送る
3 好きなことをする時間をつくる 4 ストレスを溜めない
5 気持ちをなるべく明るく持つ 6 地域の活動などに参加する

- 7 保健薬やサプリメントなどで補う 8 飲酒・喫煙を控える
 9 手洗いやうがいをおこなわない 10 定期的に健診を受ける
 11 バランスのとれた食事をする 12 摂取カロリーを控える
 13 できるだけ添加物の入っていない食品などをする
 14 運動やスポーツをする（散歩、ラジオ体操などを含む）
 15 日常生活の中でできるだけ体を動かす（車を使わず歩くなどを含む）
 16 身体に良い入浴法を取り入れる（サウナや岩盤浴などを含む）
 17 その他（具体的に：
 18 特にしていない 19 わからない

問3 あなたは、学校の授業や職業として行ったものを除き、この1年間で行った健康のための運動やスポーツなどについて、あてはまるものを選んでください。

《複数選択》

- 1 ウォーキングや散歩など（ノルディックウォーキングなどを含む）
 2 体操（ラジオ体操、ストレッチ体操など）
 3 器具や機械などを使った運動やトレーニング
 4 社交ダンス（フォークダンス、民謡などを含む）
 5 ランニング・ジョギング 6 ヨガ・ピラティス 7 水泳
 8 キャッチボール 9 パークゴルフ 10 ボウリング 11 卓球
 12 バドミントン 13 サッカー・フットサル 14 ミニバレー
 15 テニス 16 ソフトテニス 17 バスケットボール
 18 バレーボール 19 野球 20 ソフトボール 21 ゴルフ
 22 柔道 23 剣道 24 空手道 25 弓道
 26 自転車・サイクリング 27 登山 28 ハイキング 29 釣り
 30 キャンプ 31 スキー・スノーボード・クロスカントリースキー
 32 スケート・アイスホッケー
 33 その他（具体的に：
 34 この1年間に運動・スポーツはしなかった 35 わからない

※問3の「運動・スポーツはしなかった」、「わからない」と答えた方

⇒ 問7①へ

※それ以外の方（いずれかの運動やスポーツを行った方） ⇒ 次の問4①へ

問4①あなたは、運動やスポーツ活動をどのくらいの頻度で行いましたか？

《1つ選択》

- 1 週に3日以上 2 週に2日以上 3 週に1日以上
 4 月に1～3日 5 年に1～3日 6 わからない

②あなたが運動やスポーツ活動を行う際、おもにどのような時間帯に行っていますか？平日・休日の5つの時間帯からあてはまるもの2つまでを選び、もっとも多い時間帯は◎、次に多い時間帯を○で囲んでください。

No.	区分	8時以前	8時～13時	13時～18時	18時～22時	22時以降
A	平日	1	2	3	4	5
B	休日	1	2	3	4	5

問5①あなたは、主にどこで運動やスポーツを行っていますか？利用している施設等の名称から当てはまるものを選び、該当する数字を○で囲んでください。

《複数選択》

- 1 体育館 2 トレーニング室 3 福住屋内運動広場 4 野球場
 5 ソフトボール場 6 サッカー場 7 テニスコート 8 公園
 9 学校開放事業（小中学校体育館） 10 陸上グラウンド（恵庭公園）
 11 公共施設（地区会館等） 12 パークゴルフ場 13 市民水泳プール
 13 スキー場 14 スケート場 15 歩くスキーコース
 16 総合型地域スポーツクラブ 17 民間スポーツクラブ 18 ゴルフ場
 19 ボウリング場 20 海・山・川・湖 21 自宅
 22 その他（具体的に： _____)

②あなたが、スポーツ施設に望むこととはどのようなことですか？

《3つまで選択》

- 1 総合体育館と同じ規模・内容の施設整備
 2 島松・駒場体育館と同じ規模・内容の施設整備
 3 通年で屋外スポーツが練習可能な施設の整備（通年型屋外スポーツ施設）
 4 全天候型陸上競技場の整備
 5 サッカーやフットサルなどが利用可能な屋外人工芝コート of 整備
 6 テニスコートの統合整備・ナイター照明整備
 7 野球場の整備 8 少年野球専用球場の整備
 9 総合運動公園の整備 10 温水プールの整備
 11 学校体育施設の改修 12 武道場の整備
 12 初心者向けのスポーツ教室やスポーツイベントの充実
 13 スポーツ指導者の配置による指導サービスの充実
 14 利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化 15 利用時間帯の拡大
 16 健康やスポーツに関する情報提供の充実 17 託児施設の設置
 18 利用案内の広報の充実 19 駐車場の整備
 20 その他（具体的に： _____)

問6①あなたは、どのようにして運動やスポーツ活動を行っていますか？

《2つまで選択》

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 1 学校の部活動で | 2 職場のクラブで |
| 3 仲間で作っているクラブやサークルで | |
| 4 市やスポーツ団体、スポーツ施設などが行う教室などで | |
| 5 民間スポーツ施設の会員制クラブやスクールなどで | |
| 6 個人で | 7 家族で |
| 8 その他（具体的に： | ） |

②あなたが運動やスポーツを行ったのは、どのような理由からですか？

《2つまで選択》

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1 健康・体力づくりのため | 2 楽しみや気晴らしのため |
| 3 運動不足のため | 4 精神の修養や鍛錬のため |
| 5 家族とのふれあいのため | 6 友人・仲間との交流のため |
| 7 美容や肥満解消のため | 8 自己の記録や能力を向上させるため |
| 9 その他（具体的に： | ） |
| 10 わからない | |

※次は、問8①へ

問7①【問3ですべてに「していない」を選んだ方にお聞きします。】

あなたが運動やスポーツをしなかったのは、どのような理由からですか？

《1つ選択》

- | | |
|------------------------|----------|
| 1 運動やスポーツは好きではない | ⇒ 問8①へ |
| 2 運動やスポーツをしたかったができなかった | ⇒ 次の設問②へ |

②あなたがしたくてもできなかったのは、どのような理由からですか？

《3つまで選択》

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1 仕事や家事が忙しくて時間がとれないから | |
| 2 家族の介護や育児などで時間がとれないから | |
| 3 運動やスポーツは嫌いではないが積極的になれないから | |
| 4 きっかけがなかったから | 5 運動やスポーツが苦手だから |
| 6 年をとって体力に自信がないから | 7 身体が弱いから |
| 8 ケガが怖いから | 9 お金がかかるから |
| 10 仕事や家事の疲れから | 11 家族の協力が得られないから |
| 12 仲間がいないから | 13 身近に場所や施設がないから |
| 14 自分が入りたいクラブやサークルがないから | |
| 15 指導してくれる人がいないから | |
| 16 教室やイベントなどの情報を知らなかったから | |
| 17 他にやりたいことがあったから | |
| 18 その他（具体的に： | ） |

問8①あなたはこの1年間に、市内で行われた健康や運動、スポーツに関する催しなどに参加しましたか？

《複数選択》

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 えにわ健康・スポーツフェスティバル | |
| 2 恵庭クロスカントリースキー大会 | 3 各種市民スポーツ大会 |
| 4 各種スポーツ教室・講習会 | 5 総合体育館指導サービス事業 |
| 6 スタンプラリー（歩くイベント） | 7 食育講座 |
| 8 サイクリング | |
| 9 その他（具体的に：_____） | |
| 10 参加しなかった | |

※「参加しなかった」を選択された方 ⇒ 次の設問②へ

※それ以外の方 ⇒ 問8③へ

②【問8①で「参加しなかった」を選んだ方にお聞きます。】

あなたが参加しなかったのは、どのような理由からですか？

《1つ選択》

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 興味がないから | 2 催しがあることを知らなかったから |
| 3 時間がないから | 4 お金がかかるから |
| 5 参加したいものがないから | 6 会場までの交通手段がないから |
| 7 その他（具体的に：_____） | |

③あなたが、今後参加してみたいと思う健康や運動、スポーツに関する催しは、どのようなものですか？

《2つまで選択》

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1 歩くことを通した健康・体力づくりを目的とした教室や講習会 | |
| 2 レクリエーション的な事業 | 3 各種スポーツ教室・講習会 |
| 4 大会や競技会 | 5 体力テスト |
| 6 アウトドアスポーツの事業 | 7 指導者としての研修会 |
| 8 その他（具体的に：_____） | |
| 9 わからない | |

問9①あなたは、この1年間でスポーツの指導やスポーツ大会の運営、スポーツクラブなどのお手伝いなど運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか？

《1つ選択》

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 日常的・定期的に行った | 2 イベント・大会で不定期に行った |
| 3 行っていない | 4 わからない |

※「3」または「4」を選択された方 ⇒ 問9③へ

※それ以外の方 ⇒ 次の設問②へ

②そのボランティア活動は具体的にどのような内容ですか？

《1つ選択》

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1 運動・スポーツの指導 | 2 スポーツの審判 |
| 3 スポーツクラブ・団体の運営や世話 | |
| 4 大会・イベントの運営や世話 | |
| 5 その他（具体的に： _____） | |
| 6 わからない | |

③あなたはどのようなきっかけや動機づけ（モチベーション）があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思いますか？

《複数選択》

- | | | |
|-------------------------------|--------------------|-----------|
| 1 好きなスポーツの普及・支援 | | |
| 2 地域での居場所、役割、生きがい | | |
| 3 出合い・交流の場 | 4 指導・大会運営スキルの取得・活用 | |
| 5 社会貢献 | 6 顕彰や表彰 | 7 実費程度の謝金 |
| 8 特に動機づけは必要ない | | |
| 9 その他（具体的に： _____） | | |
| 10 どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない | | |
| 11 わからない | | |

問10①あなたは、スポーツが個人や社会にもたらす効果について当てはまると思うものはどれですか？

《複数選択》

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 健康・体力の保持増進 | 2 精神的な充足感 |
| 3 青少年の健全な育成 | 4 リーダーシップ・コミュニケーション能力 |
| 5 夢と感動 | 6 リラックス・癒し・爽快感 |
| 7 達成感の獲得 | 8 生産性の向上、仕事・学業の能率アップ |
| 9 経済の活性化 | 10 人と人との交流 |
| 11 地域の一体感や活力 | 12 国際相互理解の促進 |
| 13 国際的地位の向上 | 14 長寿社会の実現 |
| 15 他者を尊重し協働する精神 | 16 フェアプレー精神の醸成 |
| 17 豊かな人間性 | |
| 18 その他（具体的に： _____） | |
| 19 どれもあたらない | 20 わからない |

②あなたにとって運動・スポーツは大切なものですか？

《1つ選択》

- | | | |
|----------|---------|-------------|
| 1 大切 | 2 まあ大切 | 3 あまり大切ではない |
| 4 大切ではない | 5 わからない | |

問11①あなたは、スポーツ観戦に関心がありますか？

《複数選択》

- 1 テレビやラジオ中継で視聴する
- 2 よく会場まで行って観戦する
- 3 スポーツはしないが観戦するのは好き
- 4 ファンクラブなどに加入して会場で応援している
- 5 スポーツをすることは好きだが観戦には興味がない
- 6 スポーツにはまったく興味がない

※「5」または「6」を選択された方 ⇒ 問10①へ

※それ以外の方 ⇒ 次の設問②へ

②【問11①で1から4を選んだ方にお聞きします。】

あなたは、どのようなスポーツの観戦をしていますか？

《複数選択》

- 1 野球や相撲、サッカーなどのプロスポーツ
- 2 オリンピックやワールドカップなどの国際大会
- 3 国体や駅伝などの全国大会
- 4 全道大会や市町村規模の大会
- 5 学校行事や職場内での親睦大会
- 6 家族などが出場する大会
- 7 自分の関心が高い競技の大会
- 8 その他（ ）

③あなたが観戦した、または観戦したい種目は、どのようなものですか？

《複数選択》

- | | | | |
|--------------|----------------|-------------|----------|
| 1 野球 | 2 サッカー | 3 バスケットボール | 4 バレーボール |
| 5 テニス | 6 ゴルフ | 7 陸上競技 | 8 ボクシング |
| 9 相撲 | 10 卓球 | 11 ソフトテニス | 12 カーリング |
| 13 マラソン・駅伝 | 14 スキージャンプ | 15 スピードスケート | |
| 16 フィギュアスケート | 17 その他（具体的に： ） | | |
| 18 特にない | | | |

問12①あなたの知りたい健康や運動、スポーツに関する情報とは、どのようなものですか？

《複数選択》

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 運動・健康づくりに関する情報 | 2 大会・イベントの情報 |
| 3 サークルなどの団体に関する情報 | 4 指導者に関する情報 |
| 5 障がい者スポーツに関する情報 | 6 スポーツ施設等の概要の情報 |
| 7 ボランティアに関する情報 | 8 施設の予約状況 |
| 9 その他（具体的に： ） | |
| 10 特にない | |

②あなたは、健康や運動、スポーツに関する情報をどこから入手しますか？また、どこから入手したいと思いますか？

《複数選択》

- | | | |
|-------------|------------------------------|-----------|
| 1 市広報誌 | 2 新聞・雑誌 | 3 テレビ・ラジオ |
| 4 公共施設 | 5 地域コミュニティ紙 | 6 インターネット |
| 7 メール配信サービス | 8 Face book、Instagram、などのSNS | |
| 9 その他（具体的に： | | ） |
| 10 特にない | | |

問13 あなたは、今後の恵庭市が、夢と健康を育むスポーツ都市として発展していくためには、どのようなことに取り組むべきとお考えですか？

《3つまで選択》

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1 スポーツ教室等の充実 | 2 大会やイベントなどの開催 |
| 3 競技力向上の促進 | 4 スポーツ施設の整備 |
| 5 スポーツ指導者の養成 | 6 全道・全国規模スポーツ大会の誘致 |
| 7 子どもの体力の向上 | 8 高齢者のいきがいづくり |
| 9 歩くことを通した健康・体づくり事業の充実 | |
| 10 障がい者も参加しやすいスポーツイベントなどの実施 | |
| 11 健康・体づくりを含めたスポーツに関する相談窓口の開設 | |
| 12 スポーツ情報提供の充実 | 13 スポーツボランティアの養成 |
| 14 スポーツ団体の活動支援 | 15 eスポーツの普及・振興 |
| 16 学校運動部活動の充実 | 17 全国大会等出場者への補助制度の充実 |
| 18 利用しやすい施設運営 | 19 広域なサイクリングロードの整備 |
| 20 ウォーキングやジョギングなどができる道路整備 | |
| 21 手軽にスポーツができる公園整備 | |
| 22 スポーツ活動を通じた青少年の健全育成 | |
| 23 その他（具体的に： | ） |
| 24 期待するもの、力を入れる必要はない | 25 特にない |

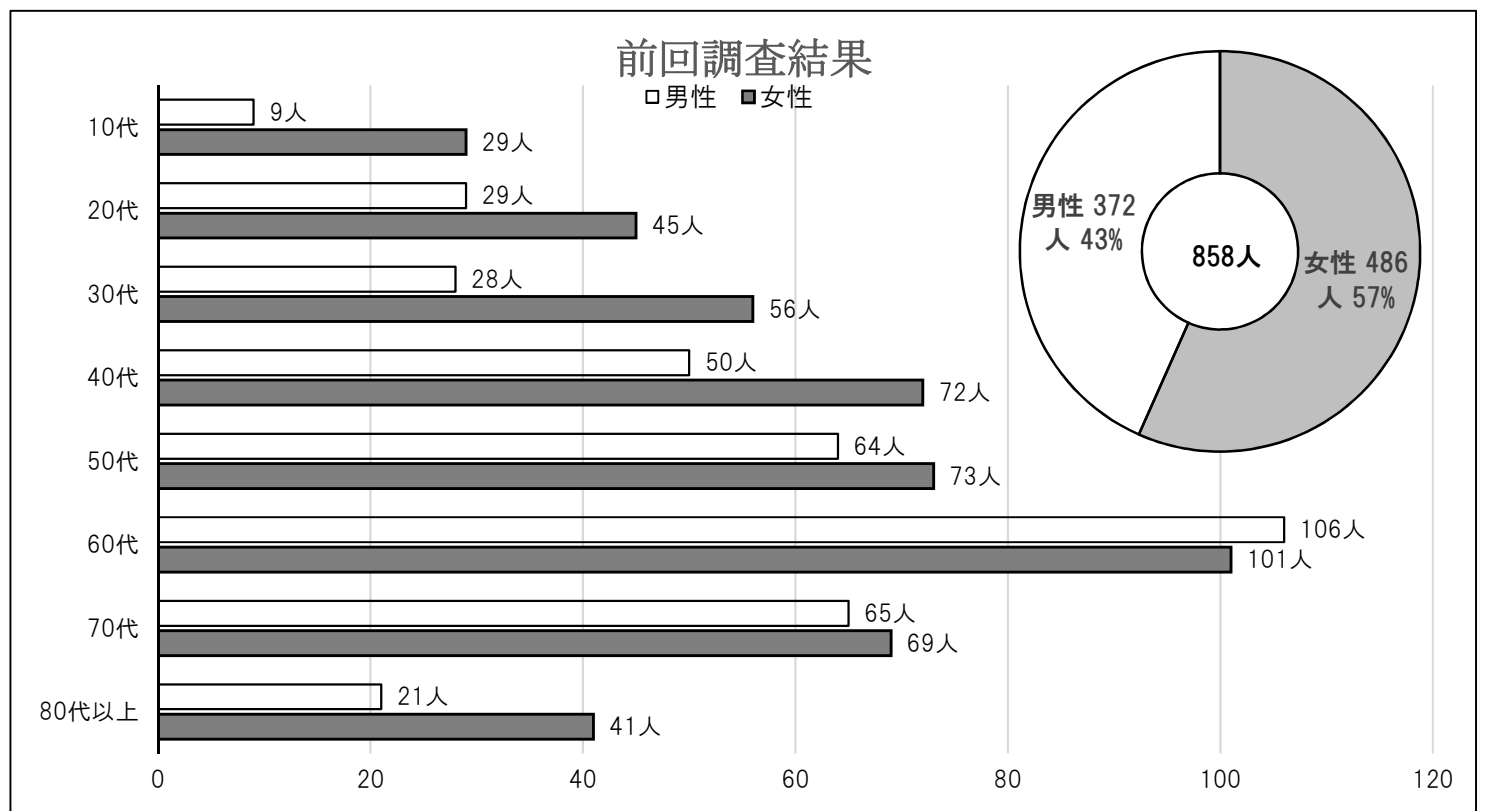
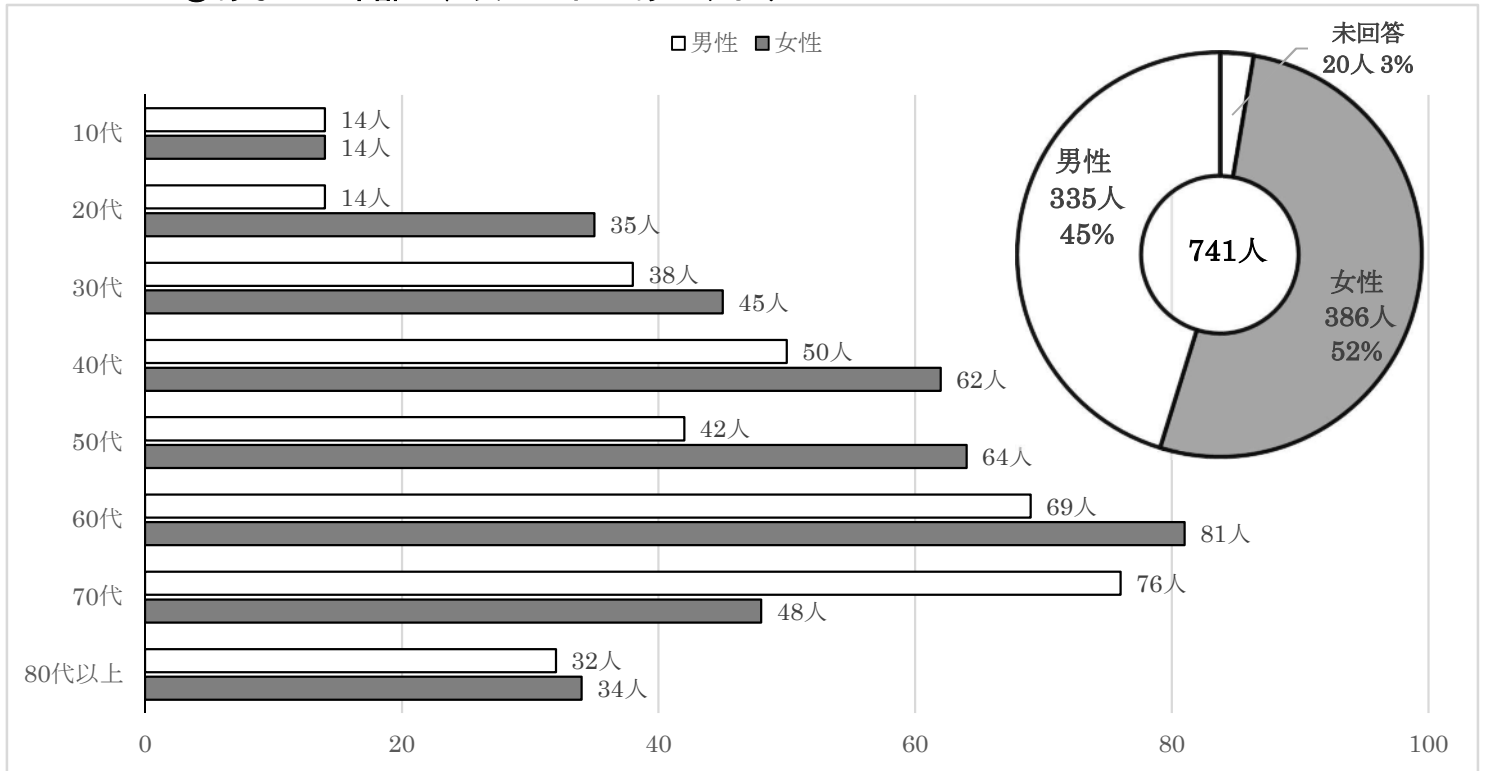
【本調査にご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。】

この用紙ごと同封の返信用封筒にて、**7月31日まで**にご投函ください。
なお、いただいたご意見は、これからのスポーツ振興に役立ててまいります。
ご協力、誠にありがとうございました。

■ 調査結果の分析

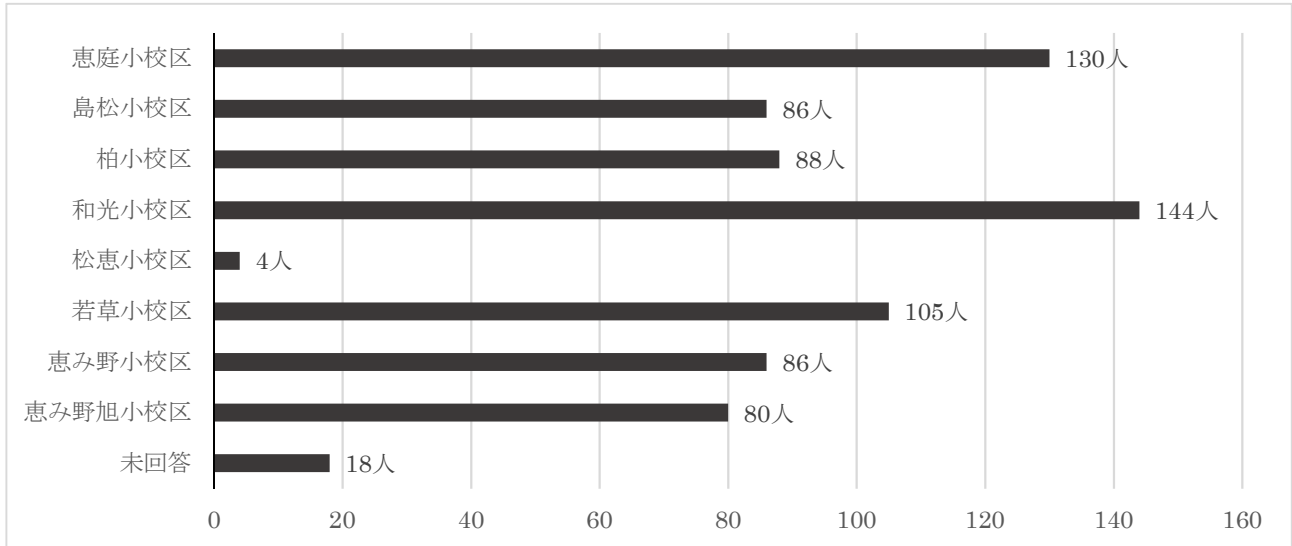
問1 ①あなたの性別を教えてください。

②あなたの年齢は、次のどれにあたりますか？

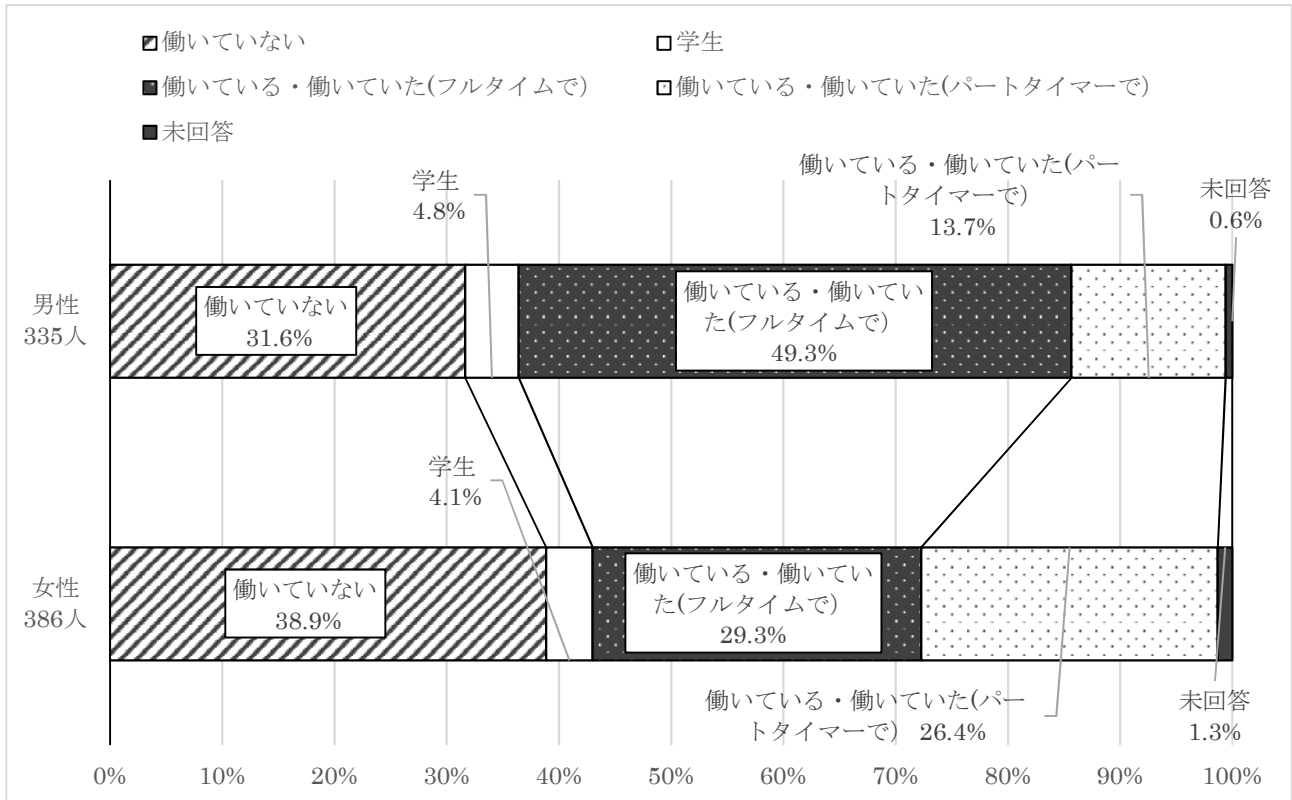


□回答については、前回に比べ回答数が減少しているものの割合への大きな変化はなかった。もっとも回答が多いのは、前回と同様に60代であった。

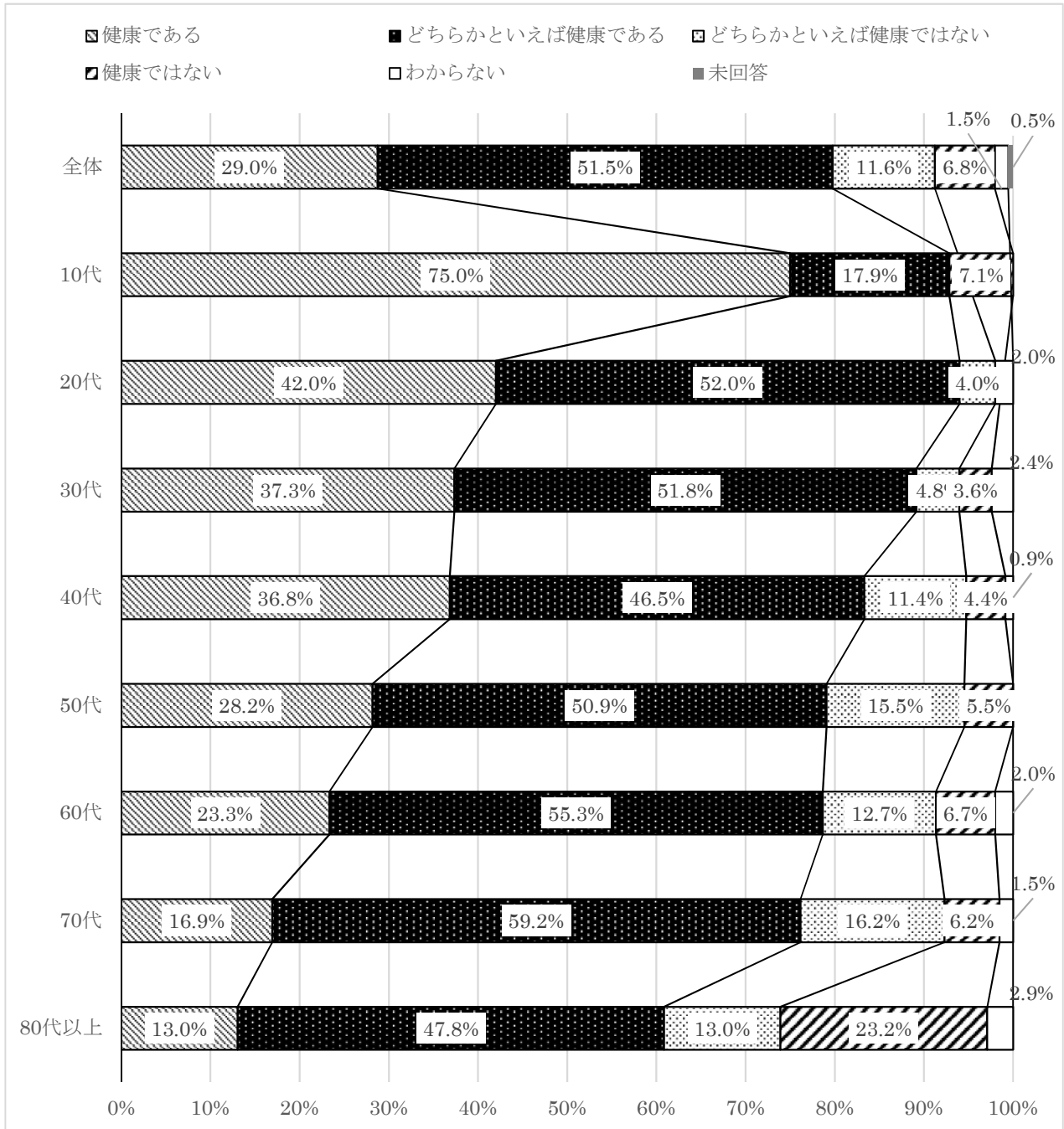
③あなたのお住まいの小学校区域は、次のどれにあたりますか？わからない場合は、お近くの小学校名から選んでください。



④あなたは、この1年間に働いていましたか？《1つ選択》

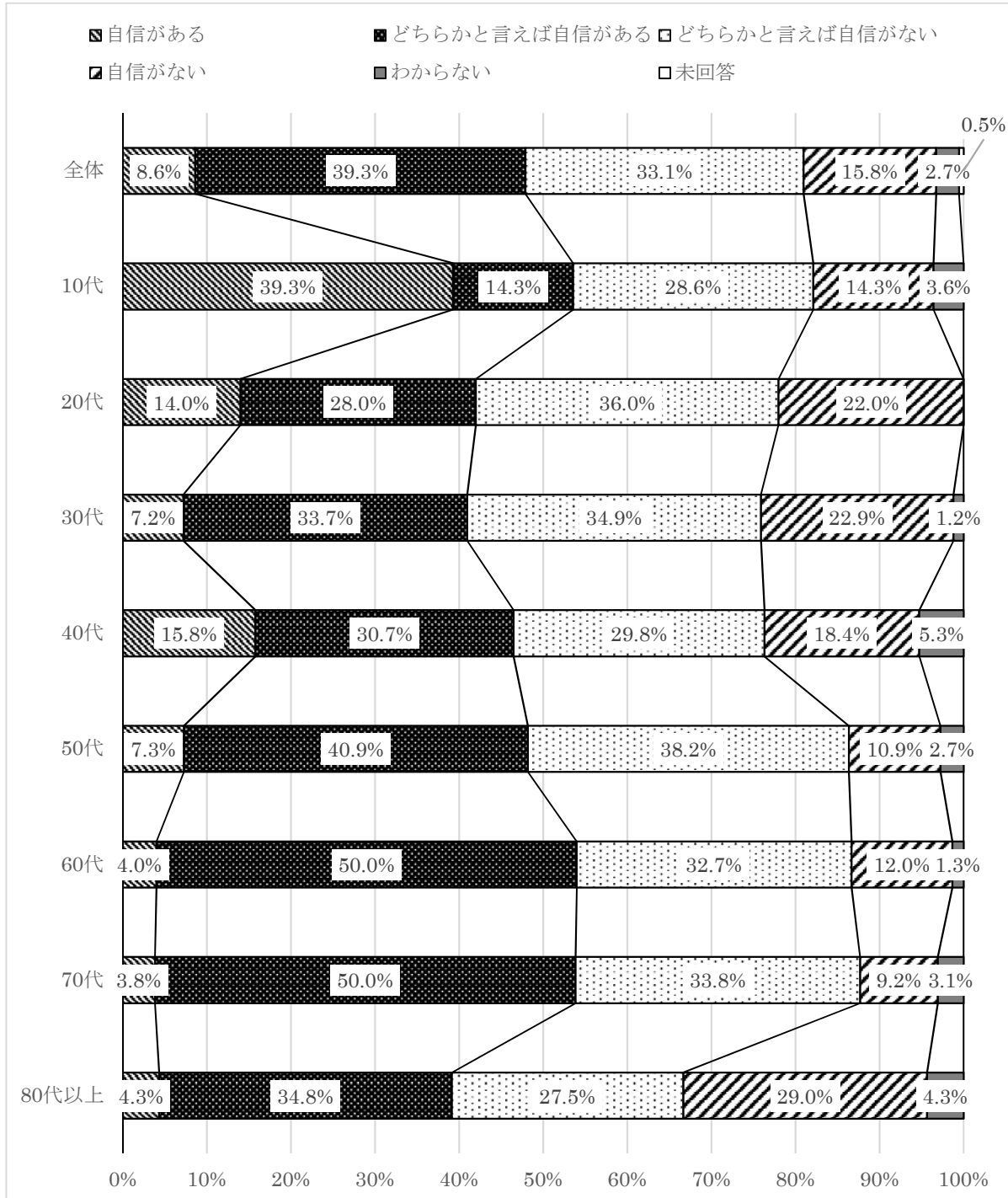


問2①あなたは現在、ご自身の健康状態をどう思われていますか？《1つ選択》



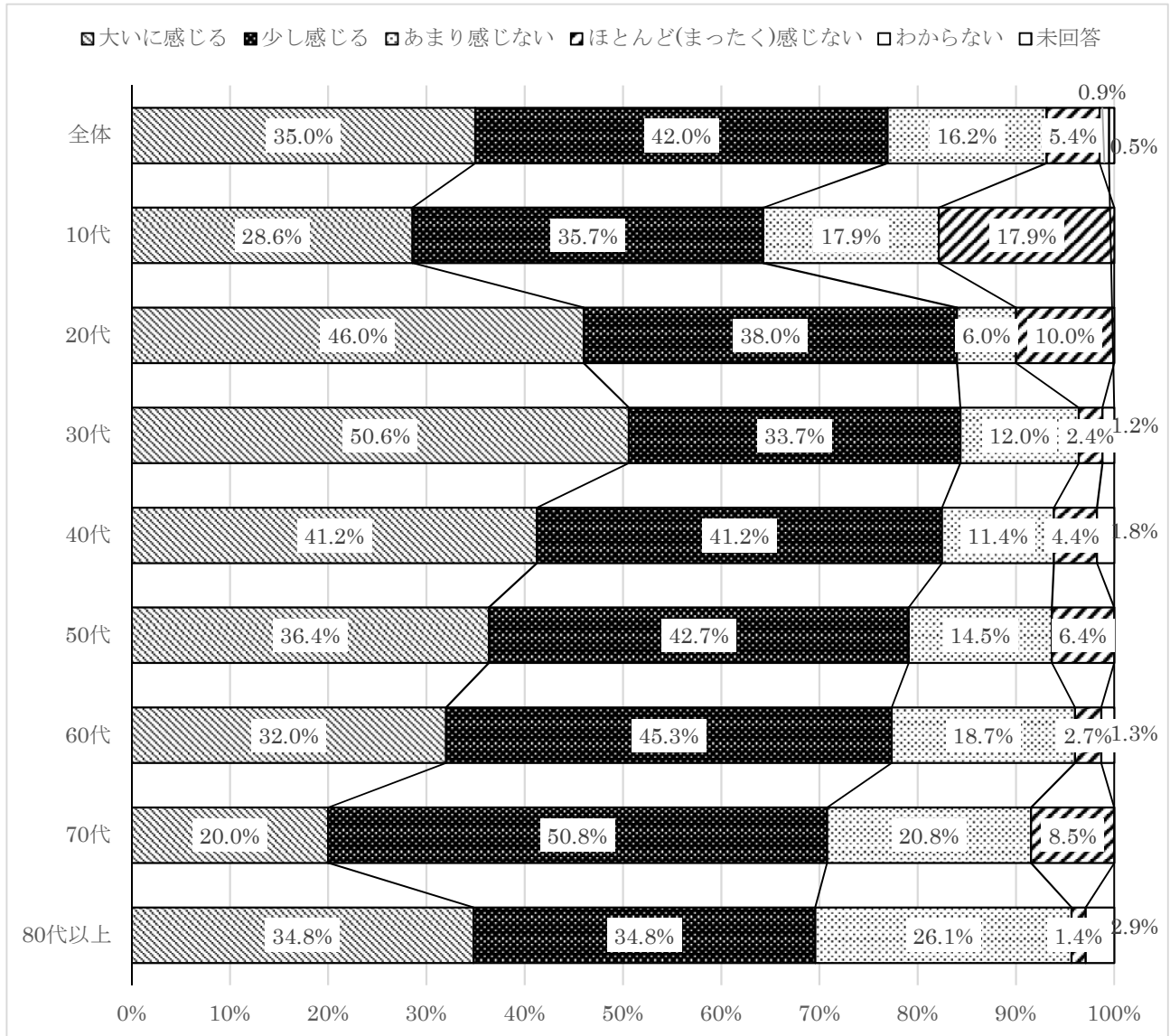
□「健康である」、「どちらかと言えば健康である」と回答した人は前回と同様に全体のおよそ8割であり、各年代とも自らを健康と思っている割合が高いが、20代をピークに年代が上がるにしたがって減少傾向がみられる。

②あなたは現在、ご自身の体力についてどう思われていますか？《1つ選択》



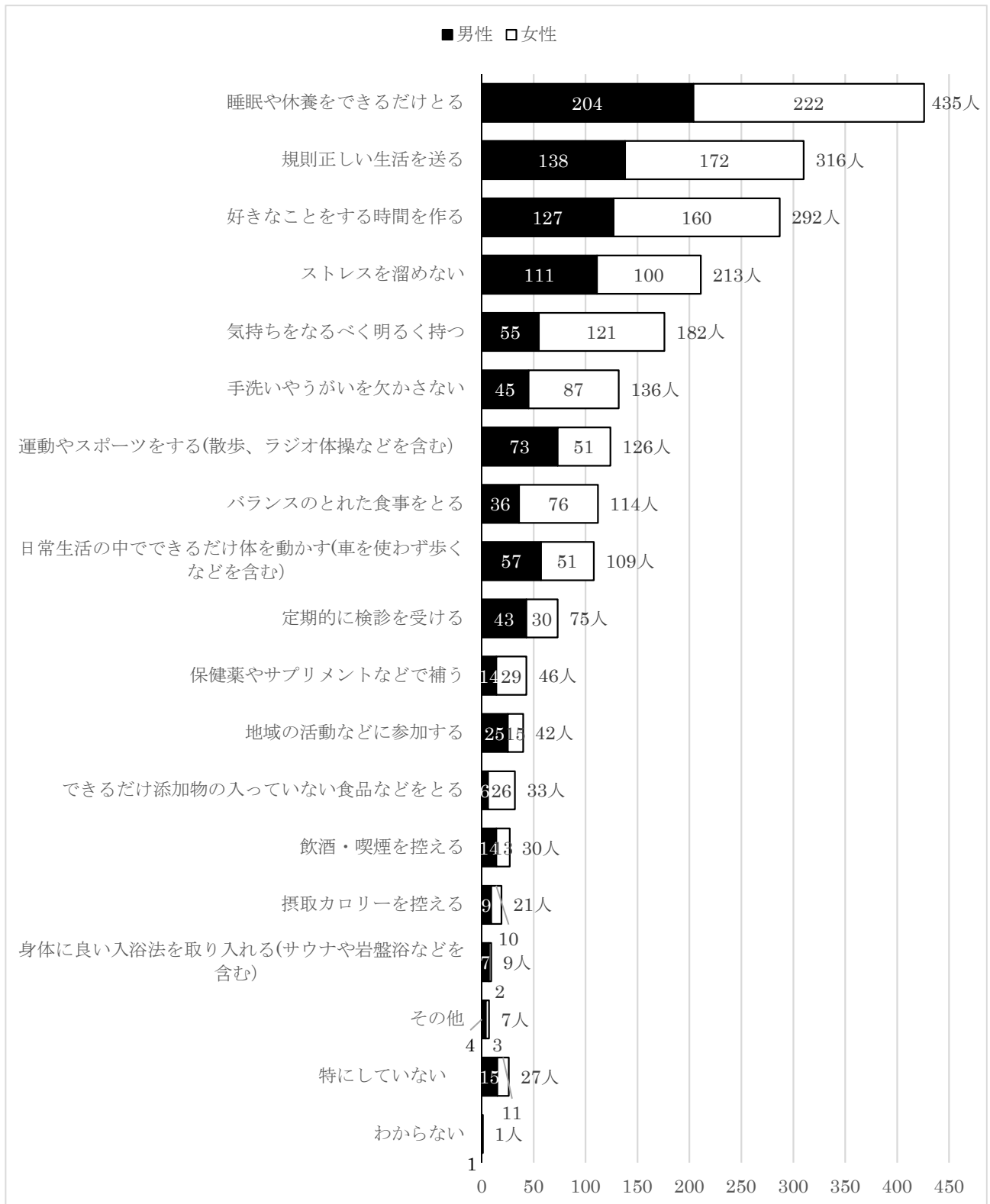
- 「自信がある」「どちらかと言えば自信がある」と回答した人は全体の5割弱であり、前回と同様に60・70代に比べ、20・30・40・50代の割合が低い。
- 問2①の設問で、8割の人が「健康である」、「どちらかといえば健康である」と感じているにもかかわらず、本設問の「体力に自信がある」、「どちらかといえば自信がある」と感じている人の割合が5割弱という結果になっており、この傾向は前回と同様である。

③あなたは現在、運動不足を感じますか？《1つ選択》



□前回より改善が見られるものの依然4人に3人は運動不足を感じている。特に、30代では5割以上の方が「大いに感じる」と回答している。

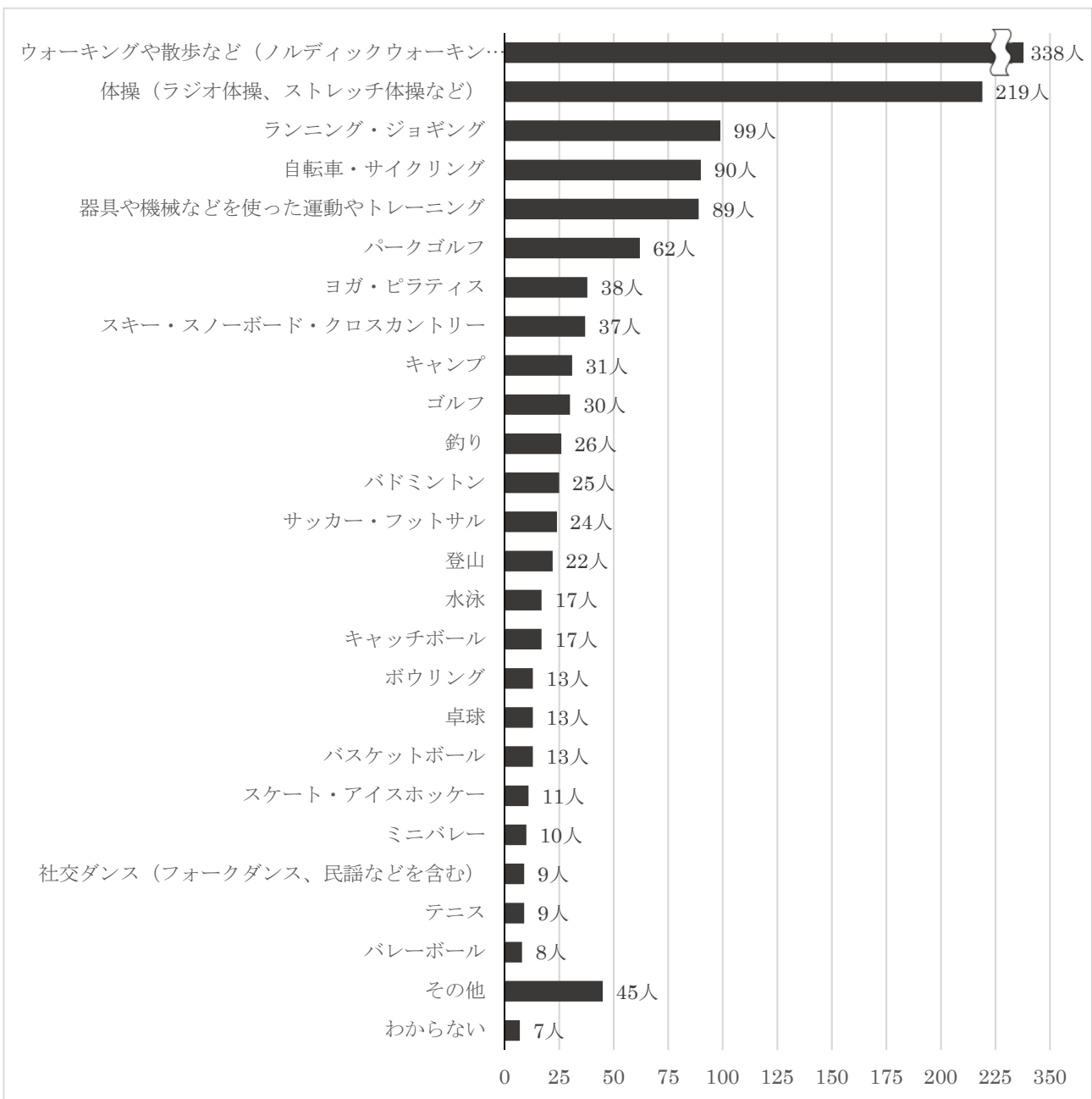
④あなたは、日頃から健康や体力維持のために心がけていることはありますか？
《3つまで選択》



- 「睡眠や休養をできるだけ取る」、「規則正しい生活を送る」、「好きなことをする時間を作る」が前回と同様に、上位を占めている。
- 食生活から健康を気遣う回答も増えている。また、近年は病院や検診などでの指導のほか、あらゆるメディアからの多くの情報を得る機会が増大しており、そこから得た情報なども参考に各自が健康への取り組みを行っているものとする。

問3 あなたは、学校の授業や職業として行ったものを除き、この1年間で行った健康のための運動やスポーツなどについて、あてはまるものを選んでください。

《複数選択》

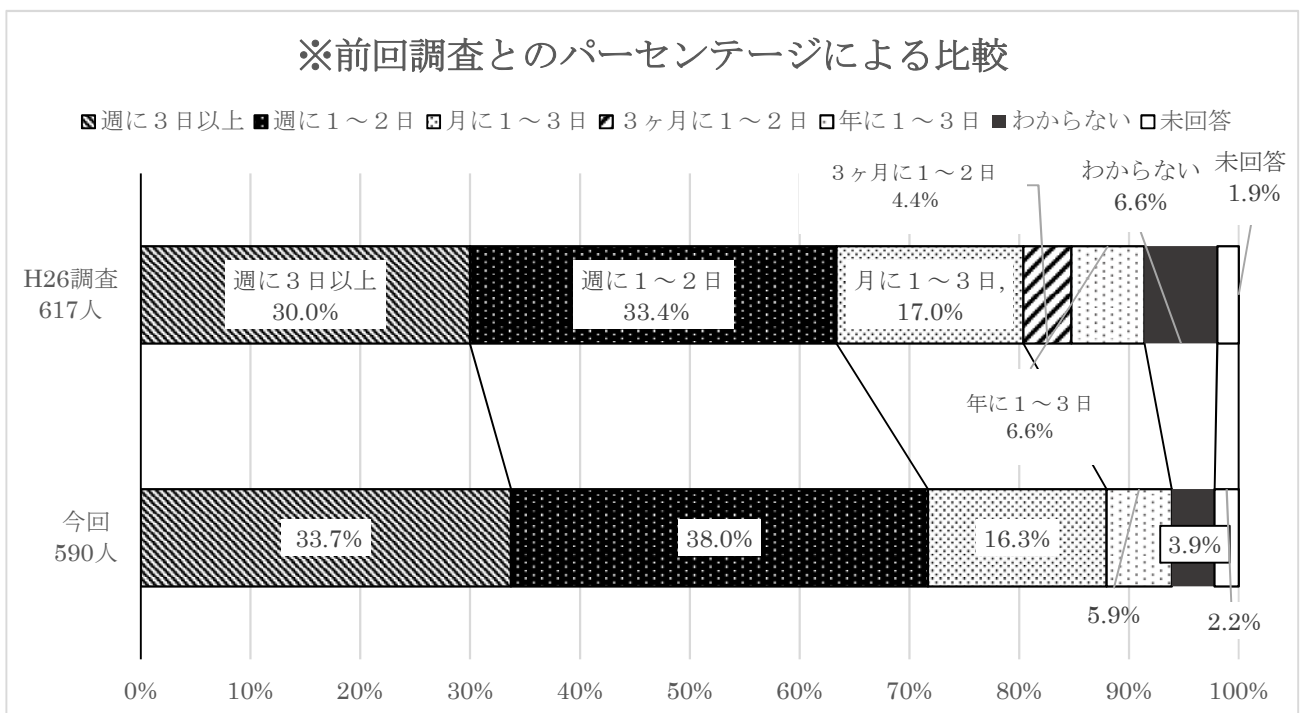
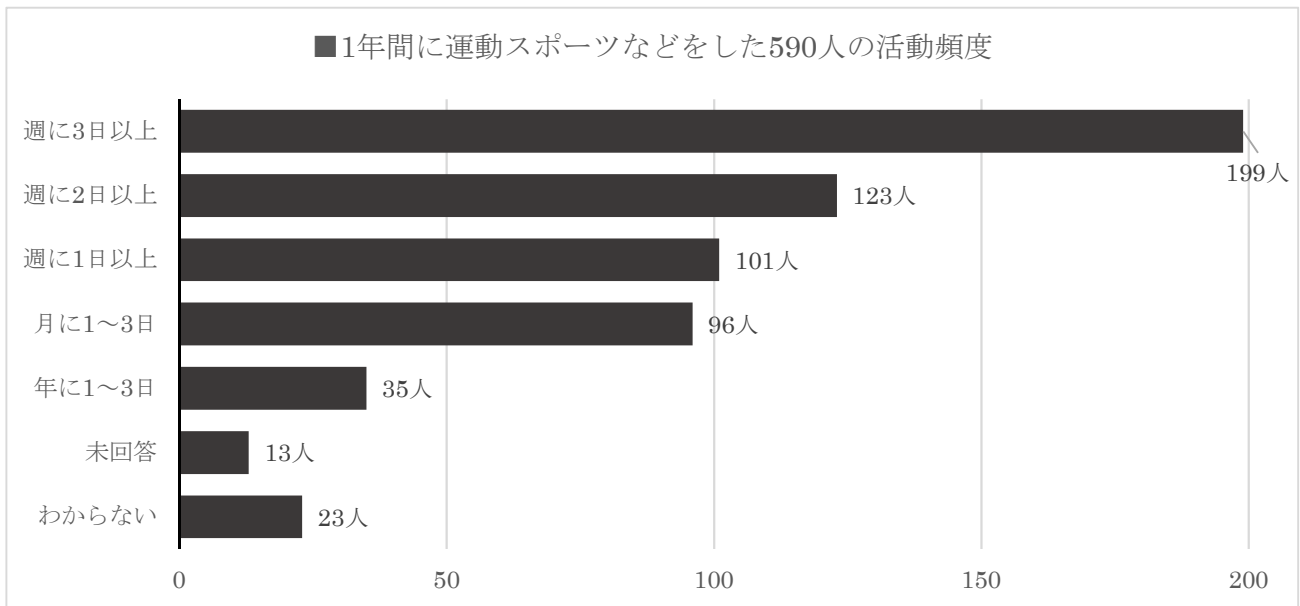


●以下は8人未満の回答

- 6人…野球
- 4人…ハイキング
- 2人…ソフトテニス、弓道

□前回と同様に「ウォーキングや散歩など」の回答がもっとも多く、「体操」、「ランニング・ジョギング」、「自転車・サイクリング」、「器具や機械などを使った運動やトレーニング」、「パークゴルフ」など、個人でも行える運動の回答が多い。

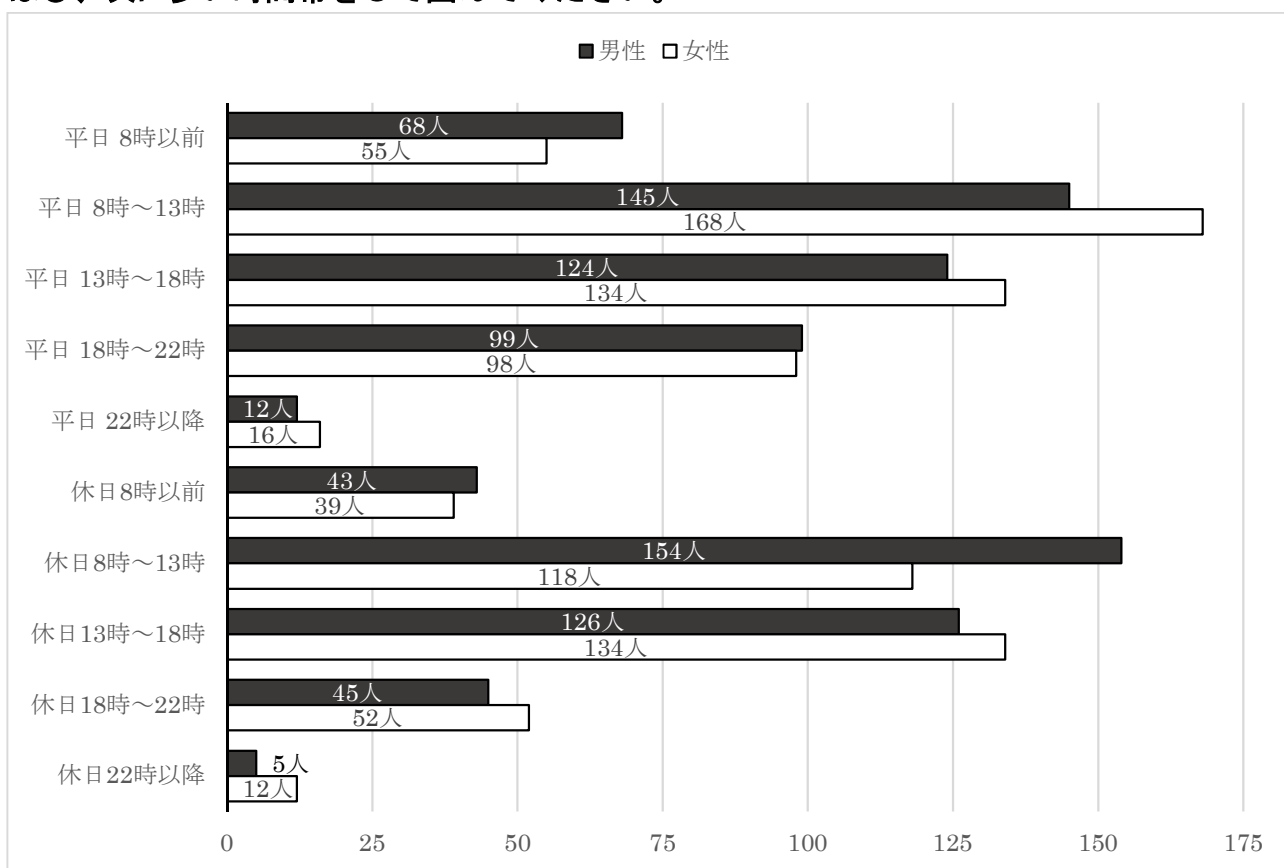
問4①あなたは、運動やスポーツ活動をどのくらいの頻度で行いましたか？
《1つ選択》



※今回調査のグラフについて「週に1～2日」は前回との比較のため数値を合算、また「3カ月に1～3日」は選択肢から削除。

- 前回と比較し、1週間当たりの運動やスポーツ活動の実施頻度は増加している。
- 活動の内容は、「散歩・ウォーキング」、「体操など」、「器具や機械などを使った運動やトレーニング」、「ランニング・ジョギング」、「サイクリング」、「パークゴルフ」となっている。
- 通勤や買い物などの機会を積極的に歩くことで運動に結び付ける人が増えており、毎日が運動機会となっていることも頻度の増加につながっているものと考えられる。

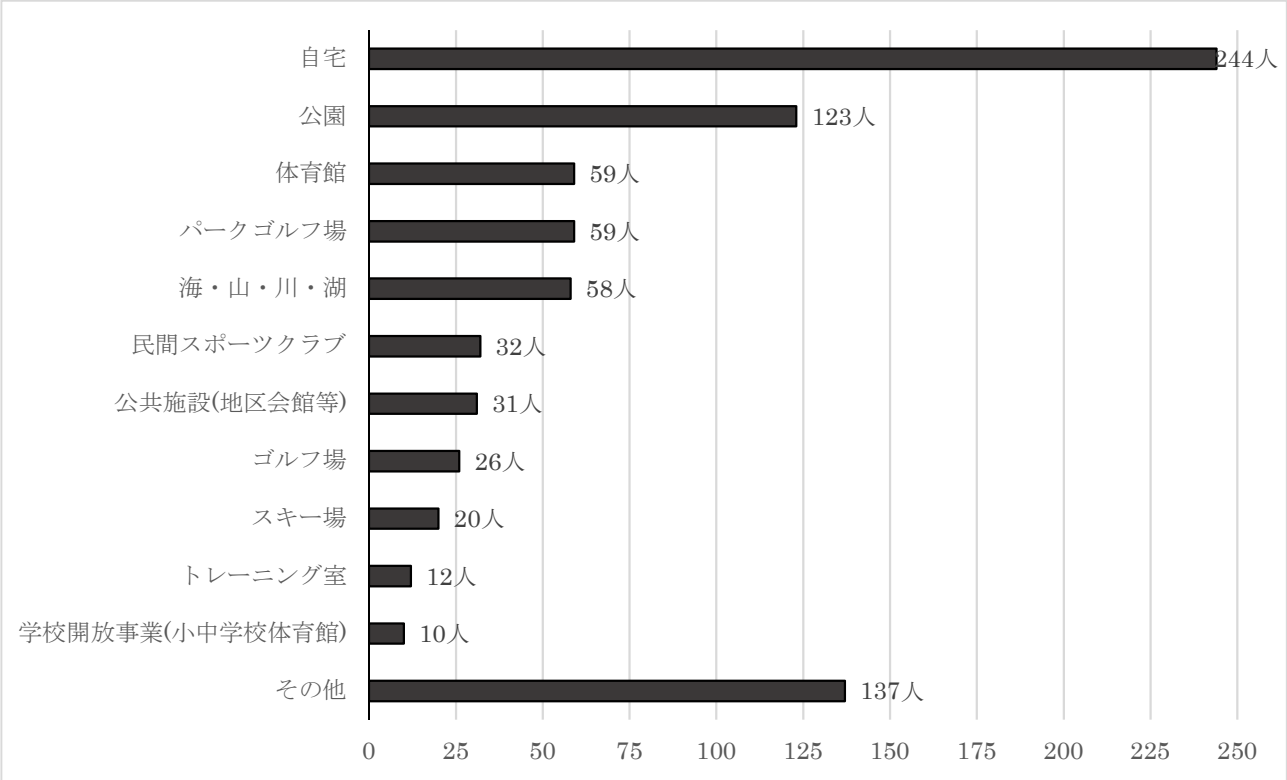
問4②あなたが運動やスポーツ活動を行う際、おもにどのような時間帯に行っていますか？平日・休日の5つの時間帯からあてはまるもの2つまでを選び、もっとも多い時間帯は◎、次に多い時間帯を○で囲んでください。



- 平日の8時～13時、同じく13時～18時の時間帯で特に回答が多かったのは60・70代の人であった。
- 休日の8時～13時、同じく13時～18時の時間帯で特に回答が多かったのは40～70代の人であった。
- 平日の18時～22時の時間帯で回答が多かったのは、20～50代の人であった。
- 休日の18時～22時の時間帯で回答が多かったのは、40代の人であった。

問5①あなたは、主にどこで運動やスポーツを行っていますか？利用している施設等の名称から当てはまるものを選び、該当する数字を○で囲んでください。

《複数選択》



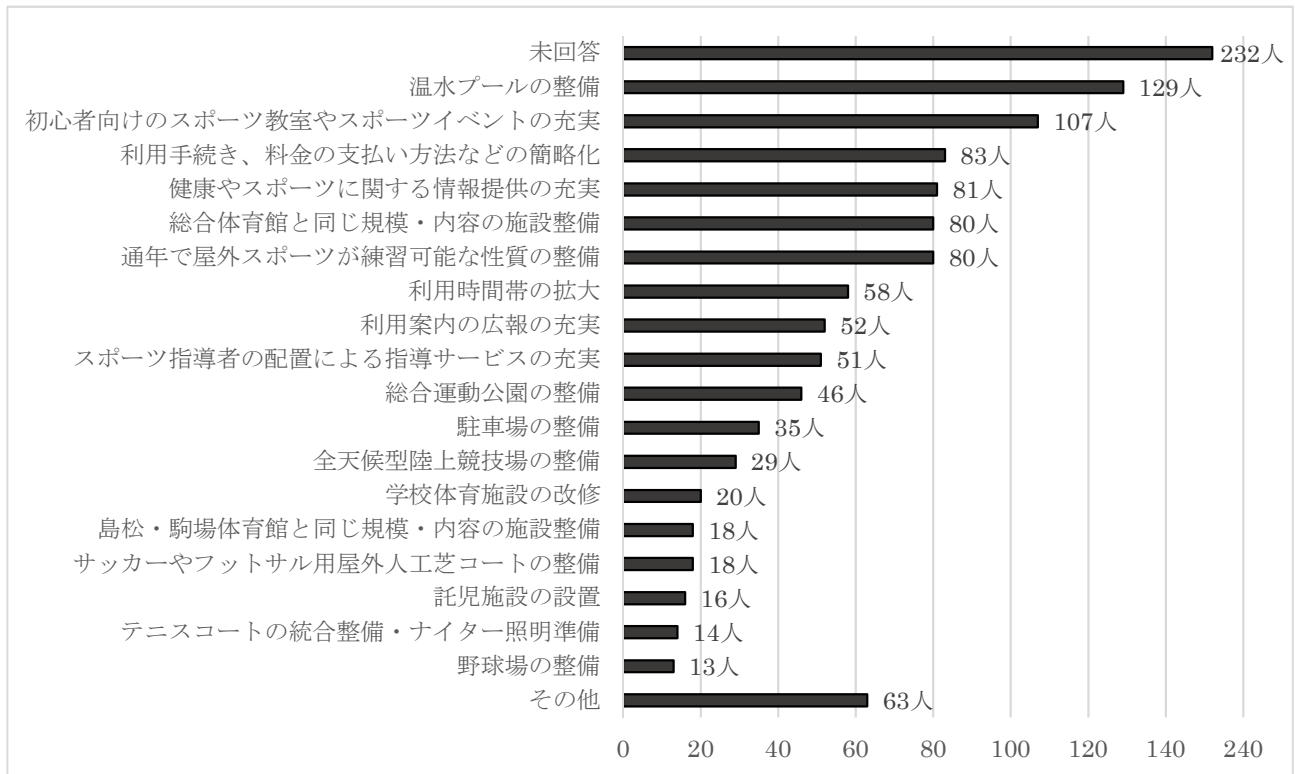
●以下は10人未満の回答

- 8人…サッカー場、テニスコート、陸上グラウンド(恵庭公園)、市民水泳プール、歩くスキーコース
- 7人…スケート場、総合型地域スポーツクラブ
- 5人…野球場
- 4人…福住屋内運動広場、ボウリング場
- 2人…ソフトボール場

□「その他」の回答のうち、道路・歩道と回答した人は90人を占めている。

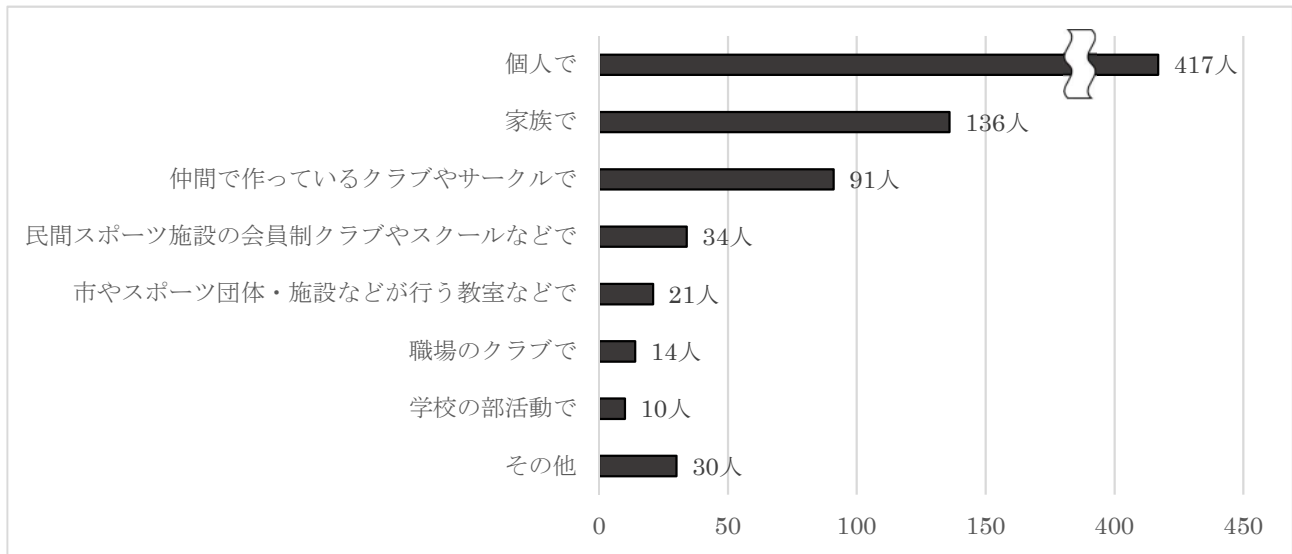
②あなたが、スポーツ施設に望むこととはどのようなことですか？

《3つまで選択》



□前回と同様に「温水プールの整備」が最多(未回答を除く)となっており、年代では特に30～60代の回答が多い。

問6①あなたは、どのようにして運動やスポーツ活動を行っていますか？

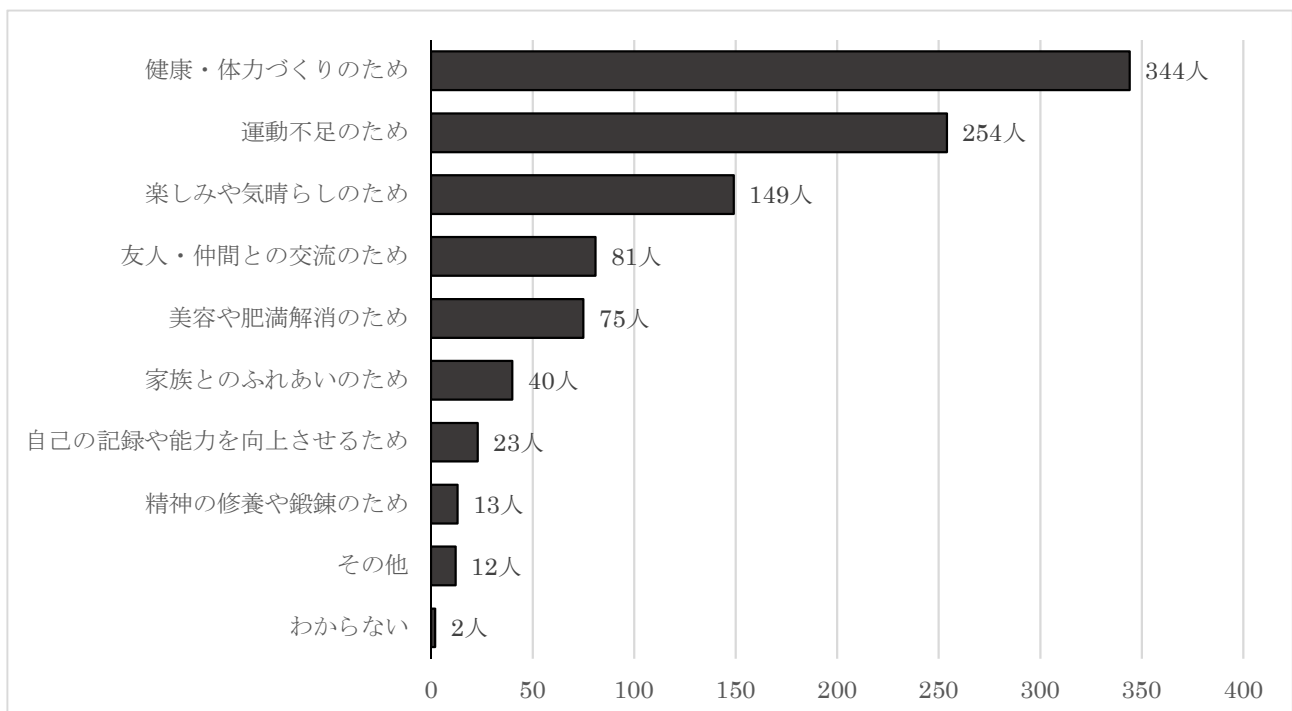


□「個人で」を回答した人が行っている主なものは、前回と同様、散歩からランニングまでの歩く・走る系、サイクリング、体操、器具を使ったトレーニング、パークゴルフとなっている。

□「家族で」を回答した人が行っている主なものも、前回と同様、散歩からランニングまでの歩く・走る系、体操、サイクリングとなっている。

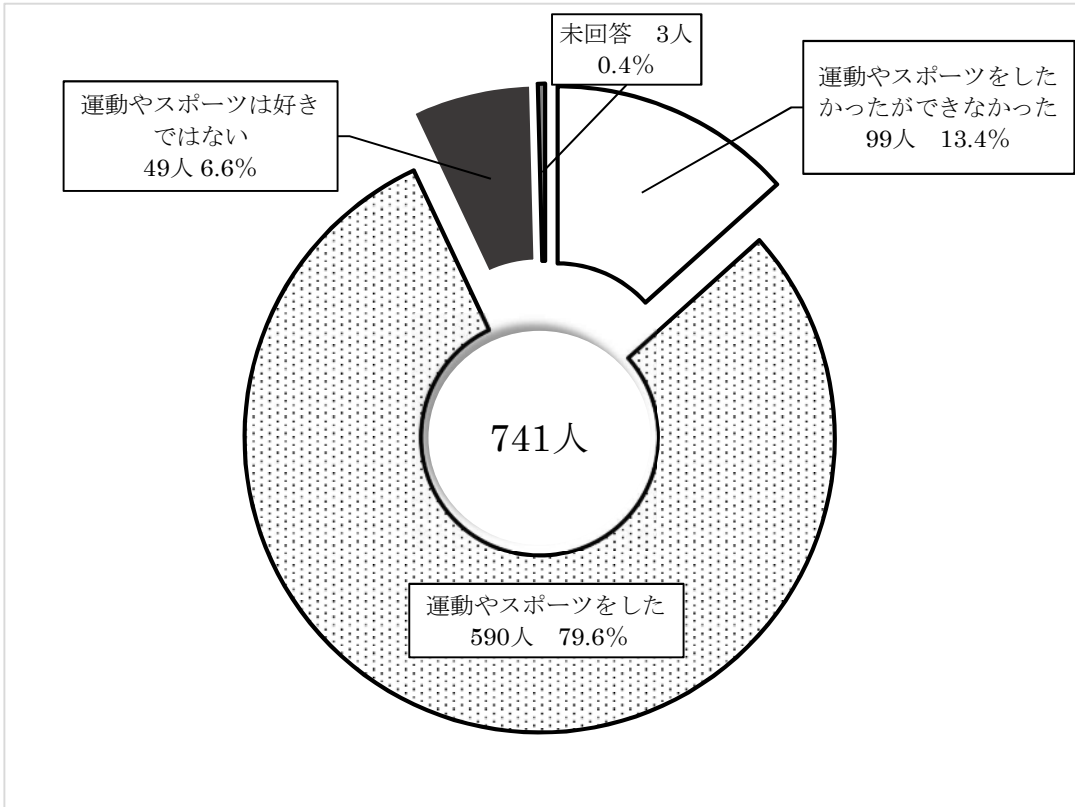
②あなたが運動やスポーツを行ったのは、どのような理由からですか？

《2つまで選択》

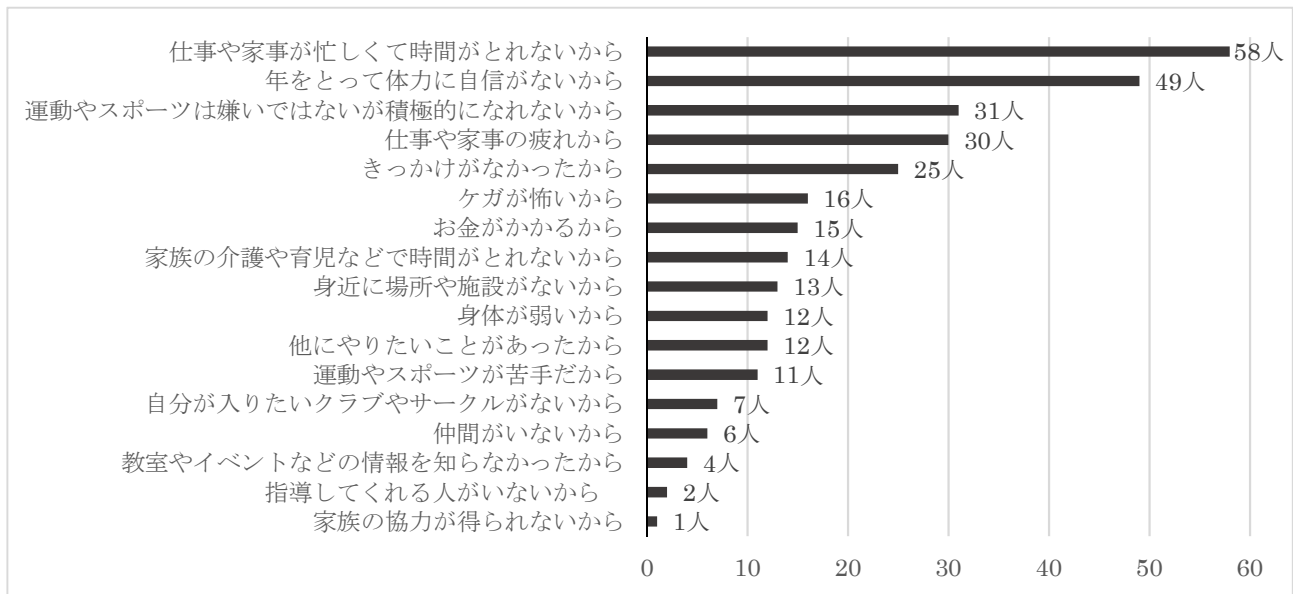


- 「健康・体力づくりのため」と回答された内、およそ6割が問2の②自身の体力についての設問で、「自信がある」、「どちらかと言えば自信がある」と回答している。
- 「運動不足のため」と回答された人の内、およそ8割が問2③「運動不足を感じる」の設問で「大いに感じる」、「少し感じる」と回答している。

問7①【問3ですべてに「していない」を選んだ方にお聞きします。】
あなたが運動やスポーツをしなかったのは、どのような理由からですか？
《1つ選択》



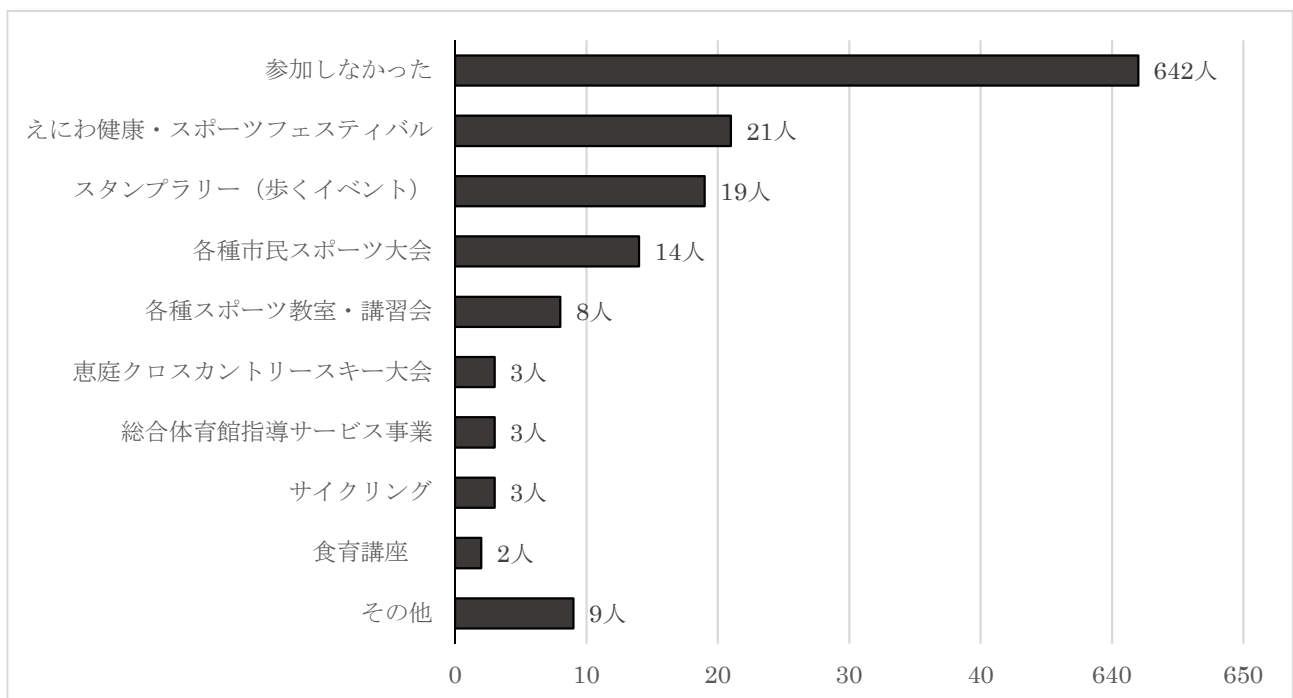
②あなたがしたくてもできなかったのは、どのような理由からですか？
《3つまで選択》



□前回調査に引き続き、「仕事や家事が忙しくて時間が取れない」という理由が多い。

□「運動やスポーツをしたかったができなかった」と回答した人は、女性が6割程度である。

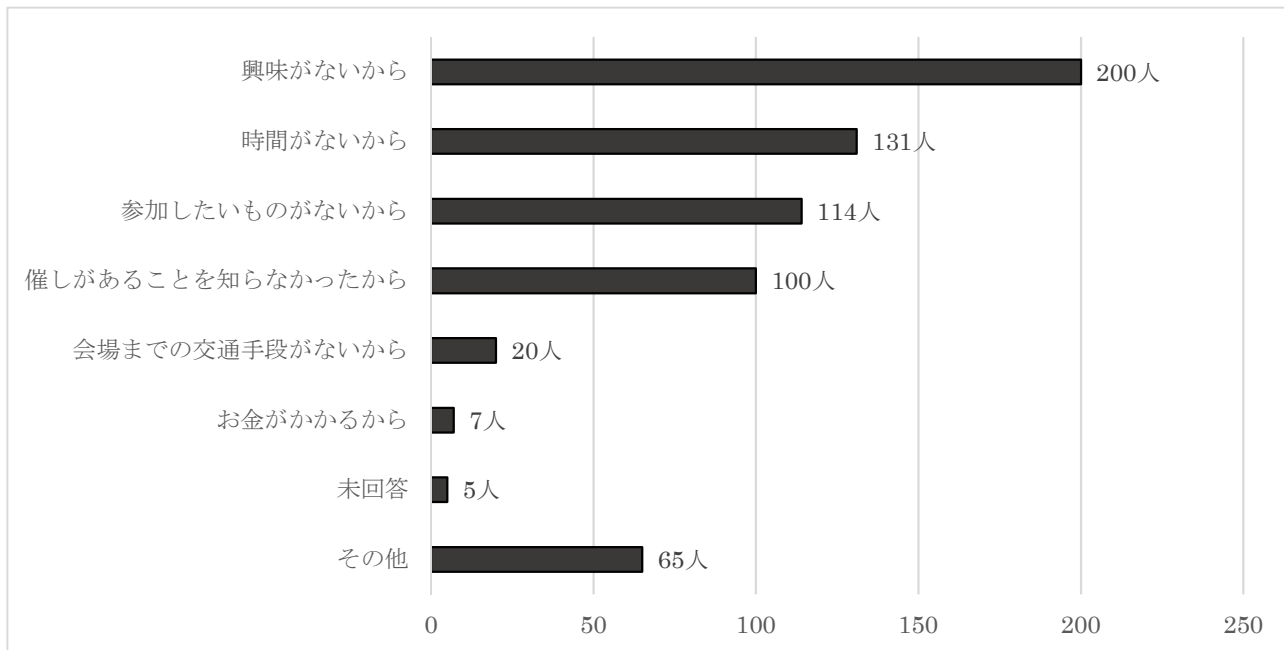
問8①あなたはこの1年間に、市内で行われた健康や運動、スポーツに関する催しなどに参加しましたか？《複数選択》



②【問8①で「参加しなかった」を選んだ方にお聞きします。】

あなたが参加しなかったのは、どのような理由からですか？

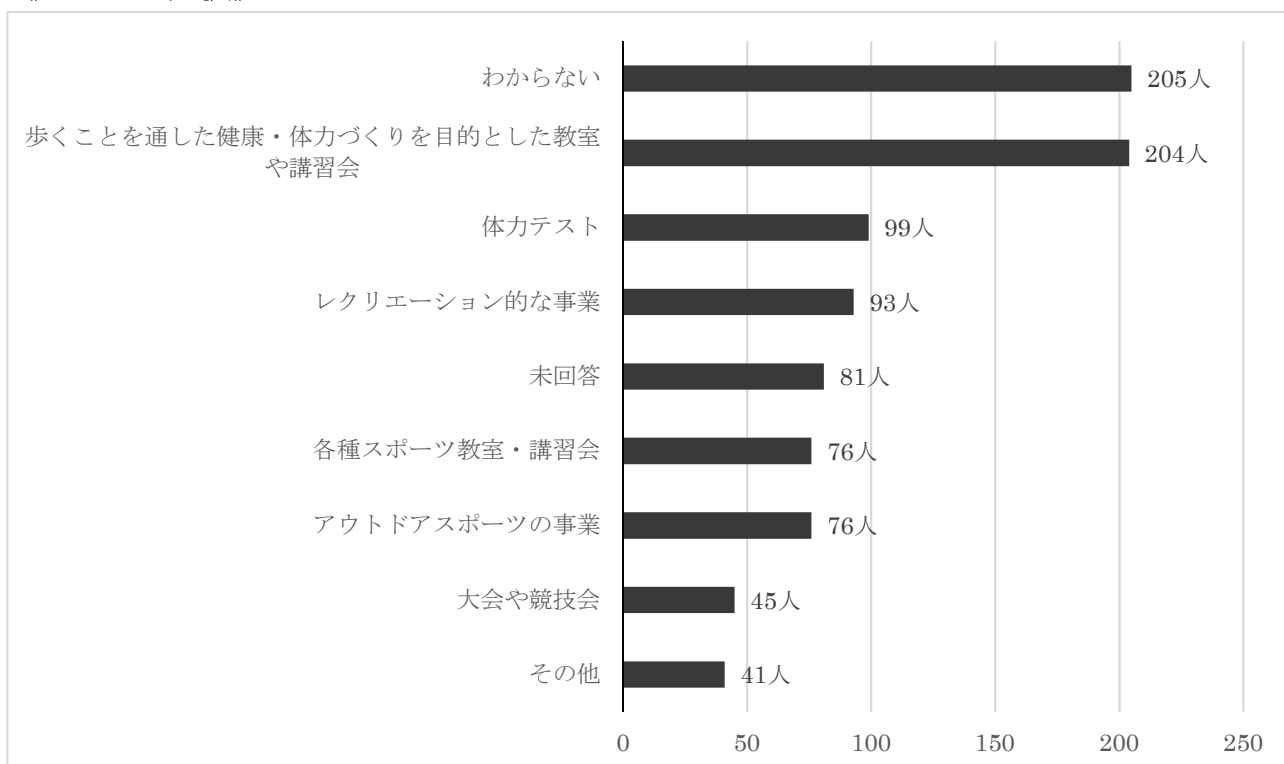
《1つ選択》



□イベントは祝日や連休に設定されることが多く、家庭の行事や他のイベントなどとバッティングするケースもある。

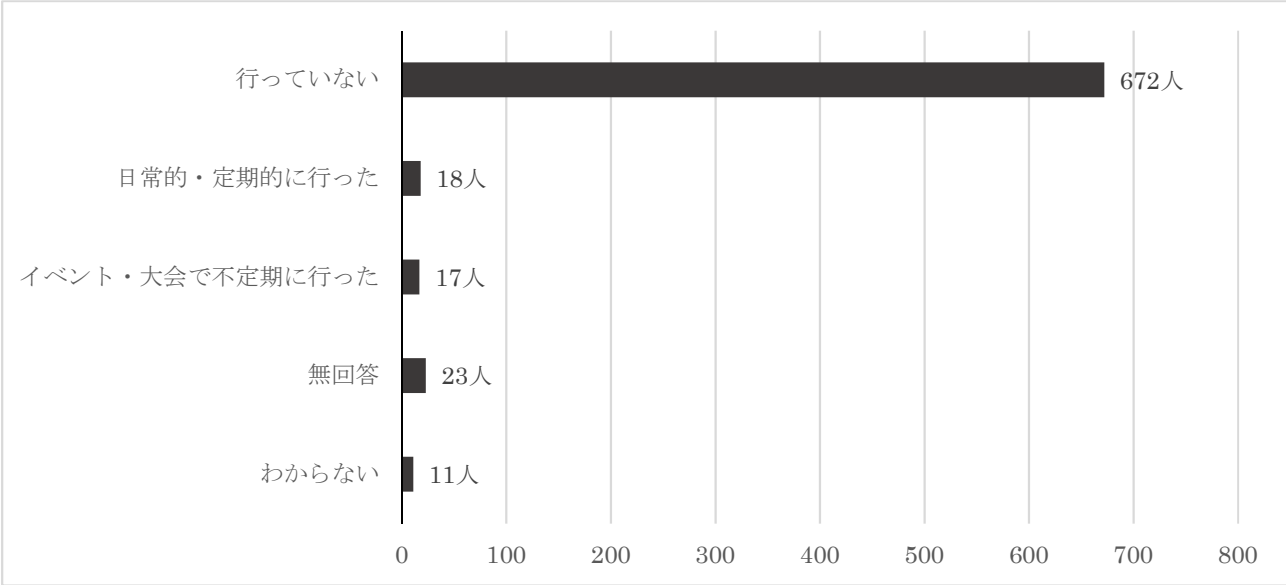
③あなたが、今後参加してみたいと思う健康や運動、スポーツに関する催しは、どのようなものですか？

《2つまで選択》

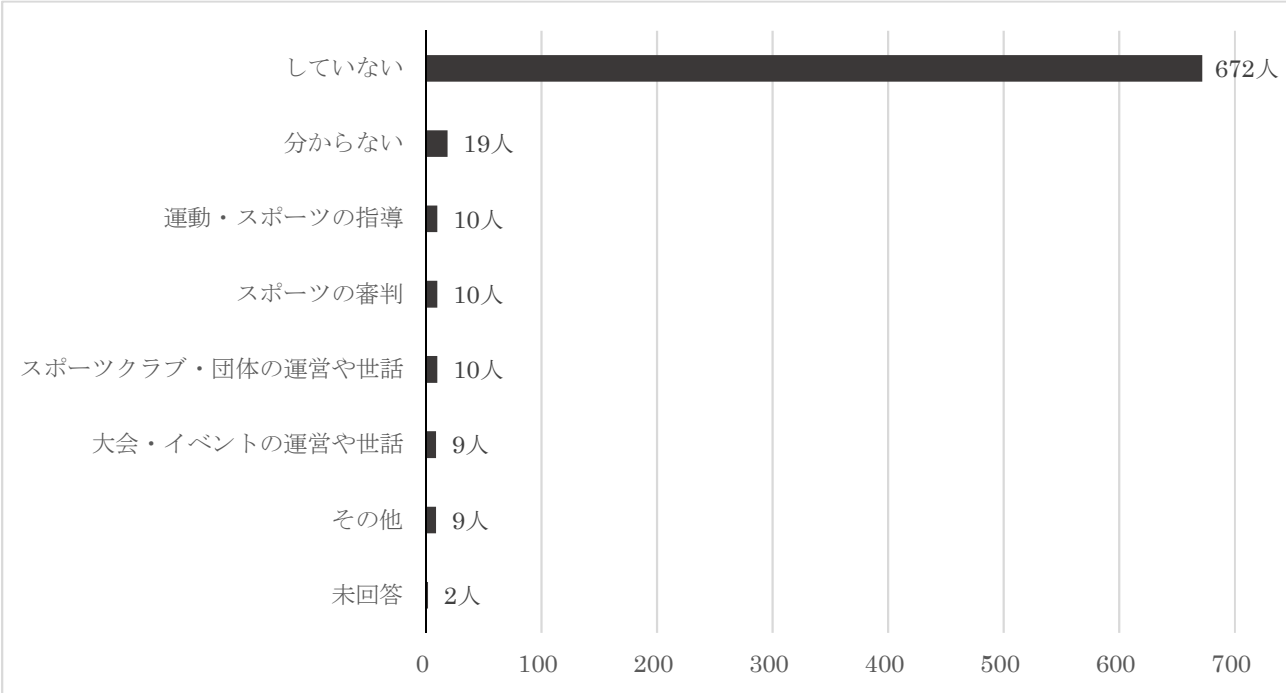


□前回の「健康・体力づくり教室・講習会」と同様に健康・体力づくりに関する回答が多い。

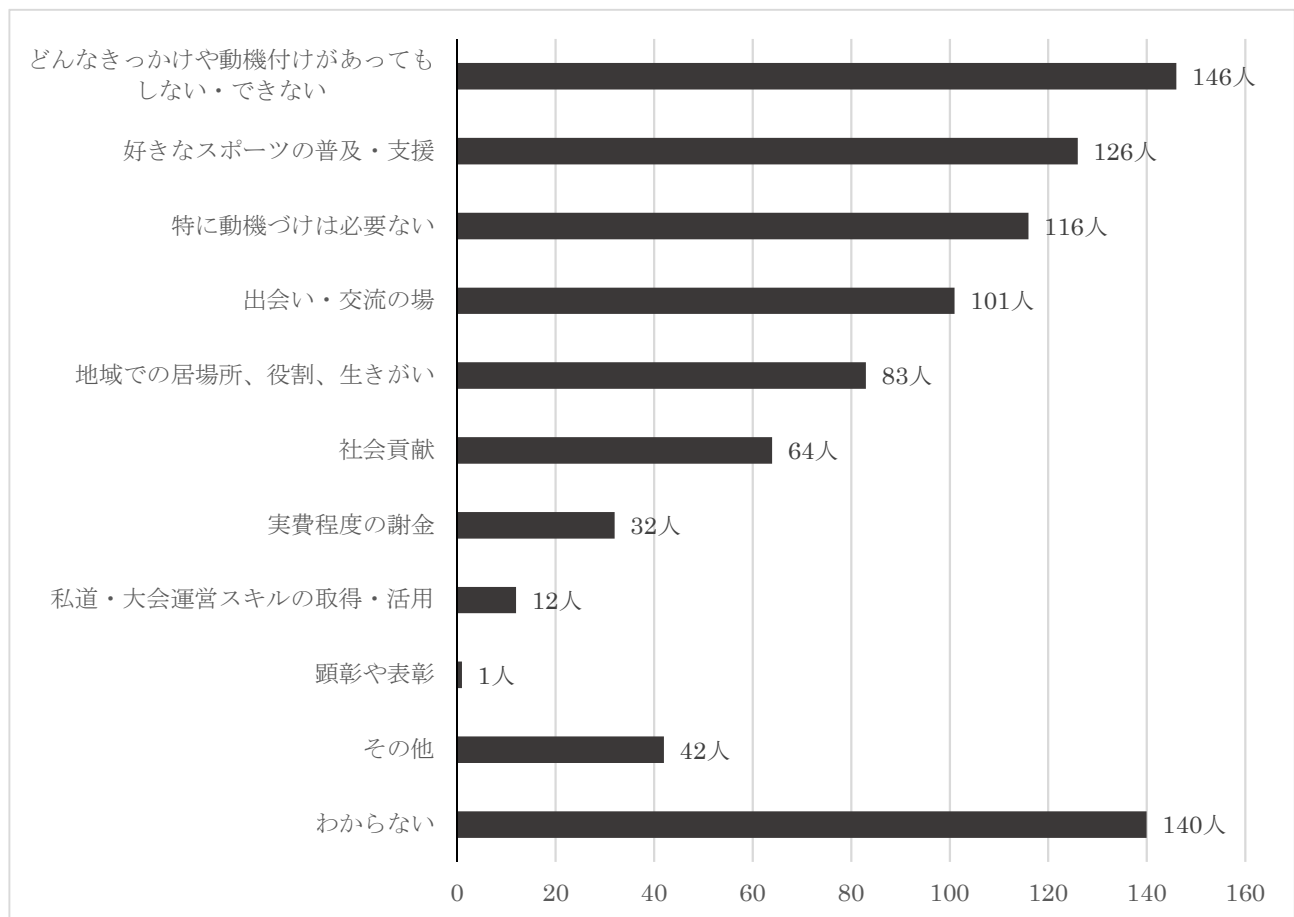
問9①あなたは、この1年間でスポーツの指導やスポーツ大会の運営、スポーツクラブなどのお手伝いなど運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか？
《1つ選択》



②そのボランティア活動は具体的にどのような内容ですか？
《1つ選択》



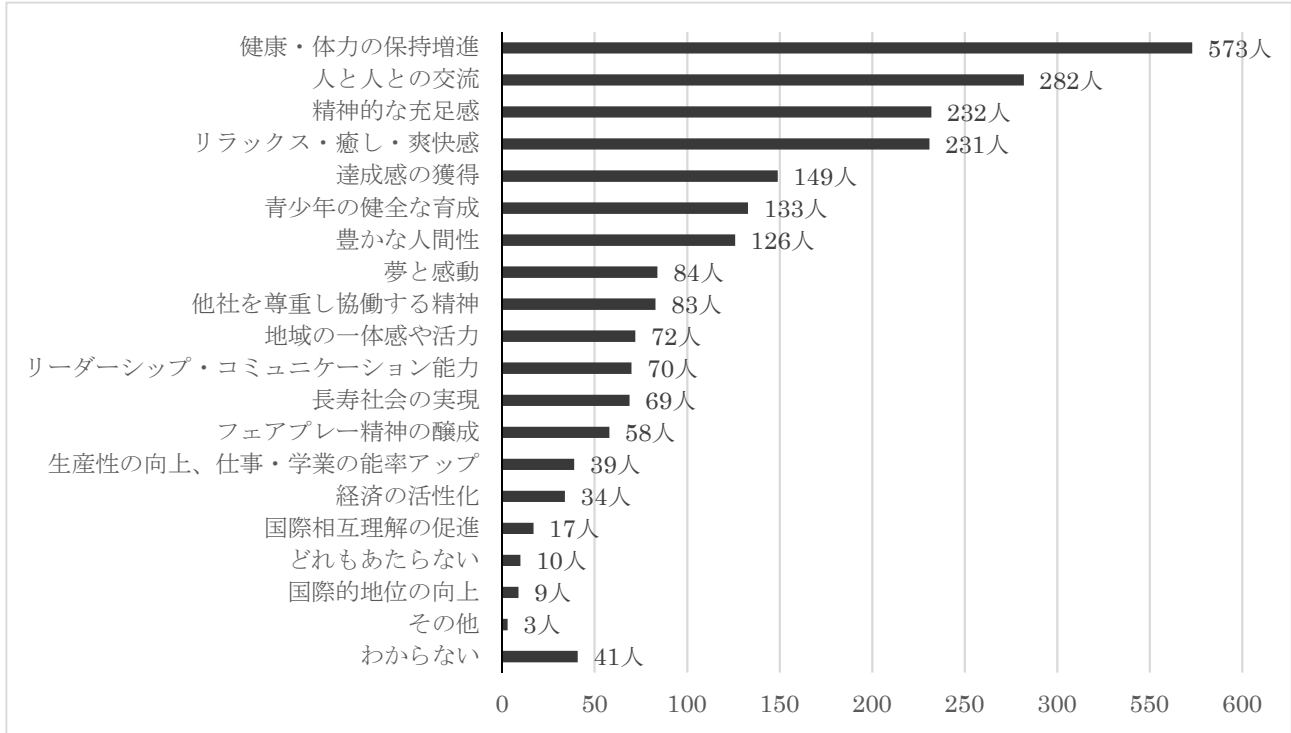
③あなたはどのようなきっかけや動機づけ（モチベーション）があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思いますか？



□運動・スポーツに関するボランティア活動を行っている人の割合は非常に低いことから、今後、スポーツ団体・協会等の活動に携わる人材が不足することが懸念される。

問10①あなたは、スポーツが個人や社会にもたらす効果について当てはまると思うものはどれですか？

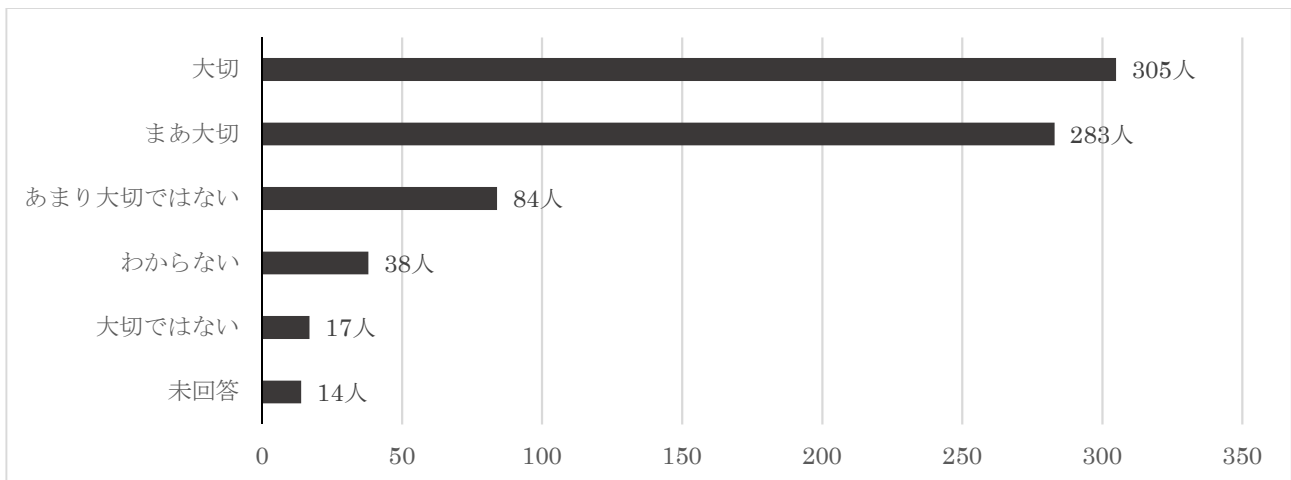
《複数選択》



□「健康・体力の保持増進」が最も高く、次いで「人と人との交流」、「精神的な充足感」、「リラックス～爽快感」と続き、スポーツは身体面だけでなく精神面においても健康に効果をもたらすと認識している人が多い。

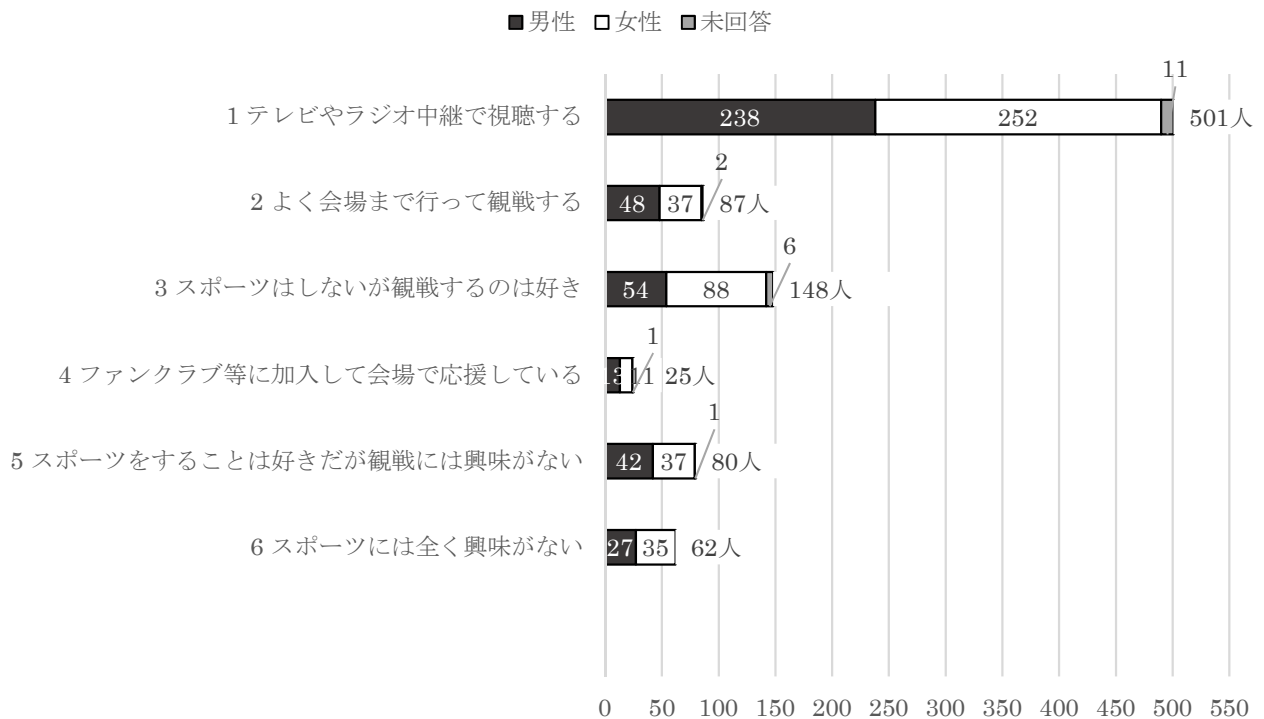
②あなたにとって運動・スポーツは大切なものですか？

《1つ選択》



□「大切」、「まあ大切」の回答率が全体の約8割であり、多くの方はスポーツは大切であると考えている。

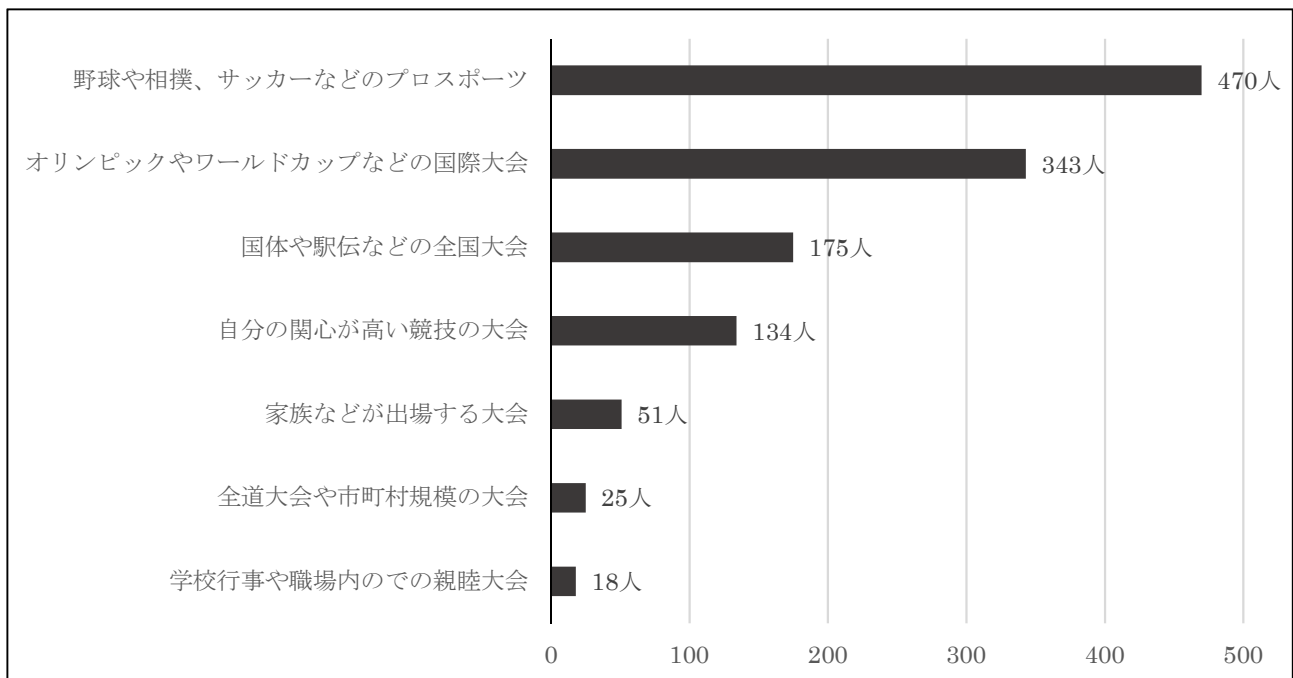
問11①あなたは、スポーツ観戦に関心がありますか？《複数選択》



②【問11①で1から4を選んだ方にお聞きします。】

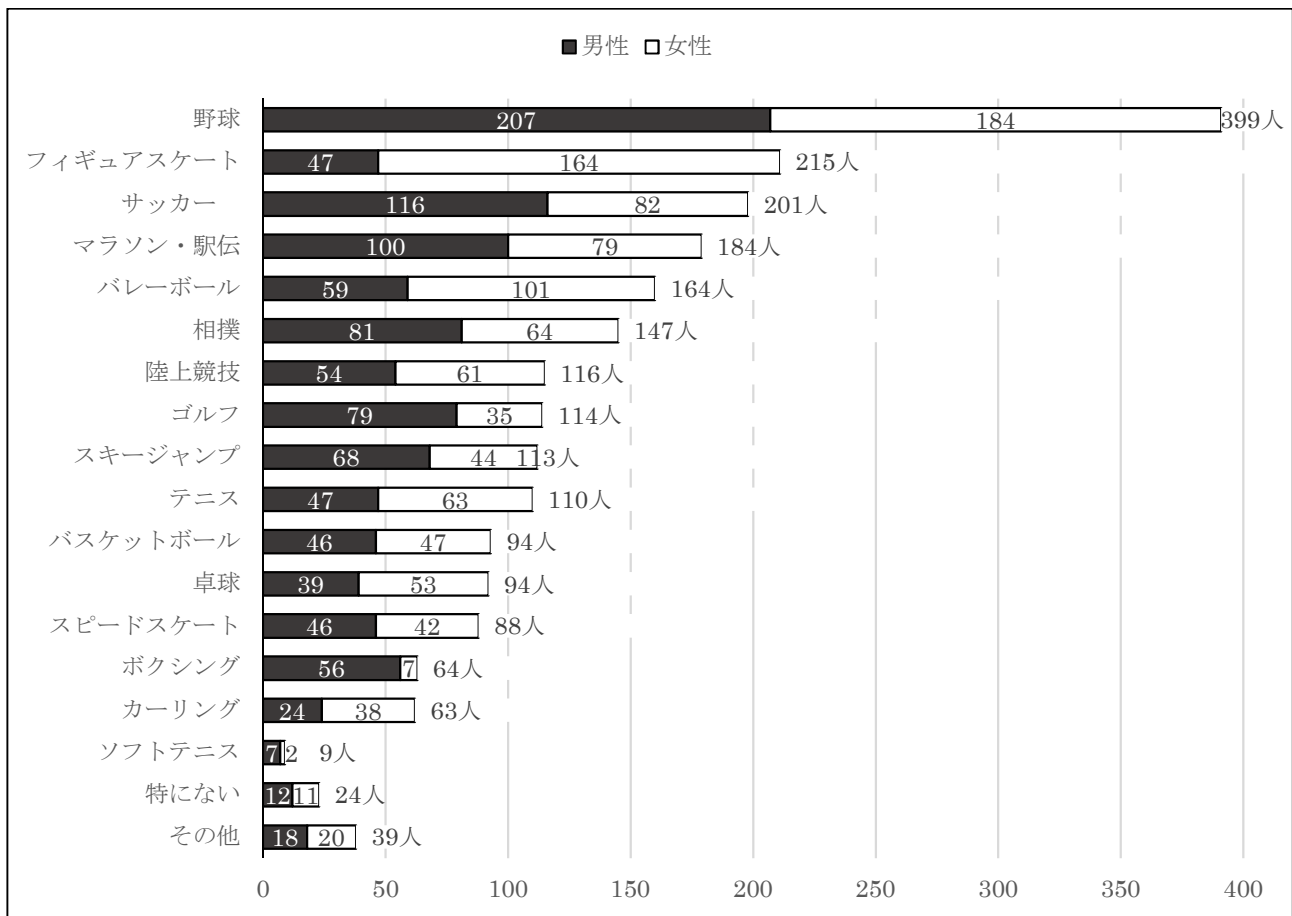
あなたは、どのようなスポーツの観戦をしていますか？

《複数選択》



□問11①の設問では、「テレビやラジオ中継で視聴する」が最も割合が高く、問11②の設問では「野球や相撲～プロスポーツ」の割合が最も高かった。前回同様、北海道にフランチャイズを持つプロスポーツの応援などが影響しているものと考えられる。

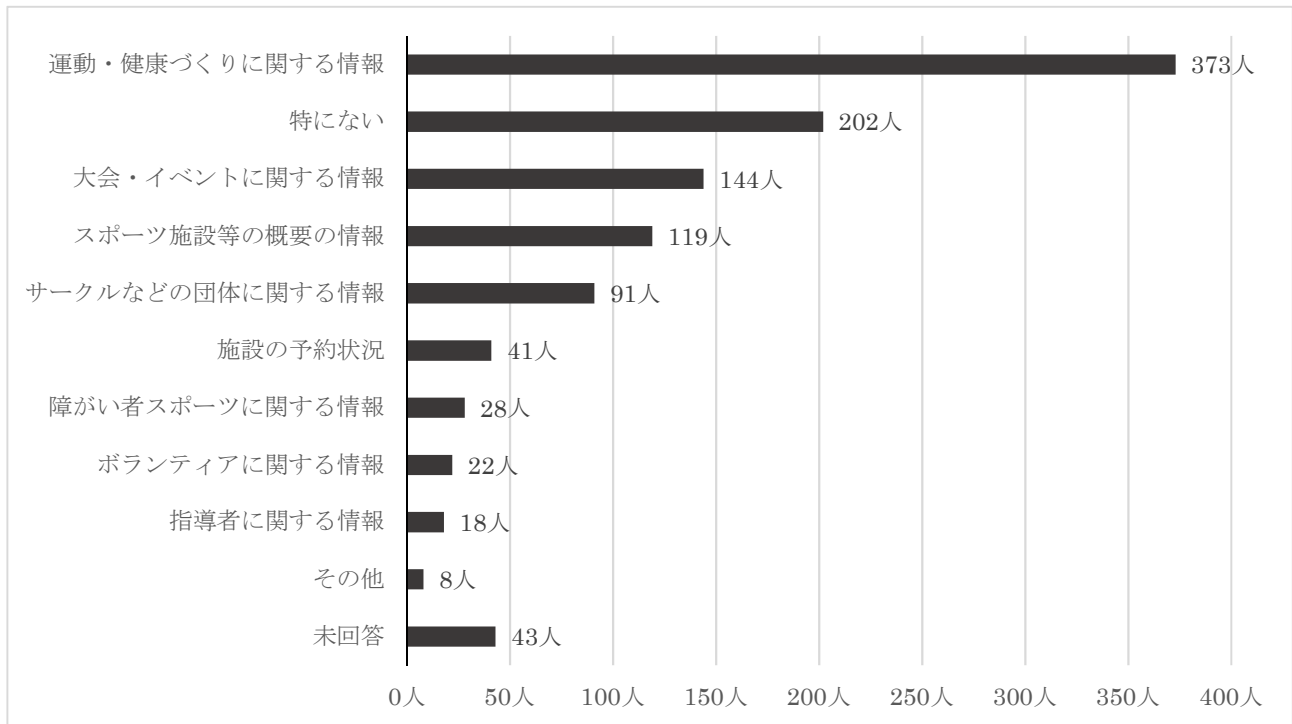
③あなたが観戦した、または観戦したい種目は、どのようなものですか？
《複数選択》



- もっとも回答の多かった種目は野球で、男女ほぼ同数であり、日本ハムファイターズや高校野球の影響もあると考える。
- 次いでフィギュアスケート・サッカー・マラソン、駅伝・バレーボールと続き、ここまで前回調査と順位の変動がなかった。フィギュアスケート、バレーボールは女性が、サッカー、マラソンは男性の割合が高かった。
- 「その他」の中で、前回調査では回答者がいなかったラグビーの回答が目立った。日本でワールドカップが開催され注目されたことが要因と考えられる。
- 男女別の高回答種目
 - 男性…野球，サッカー，マラソン・駅伝，相撲
 - 女性…野球，フィギュアスケート，バレーボール，サッカー

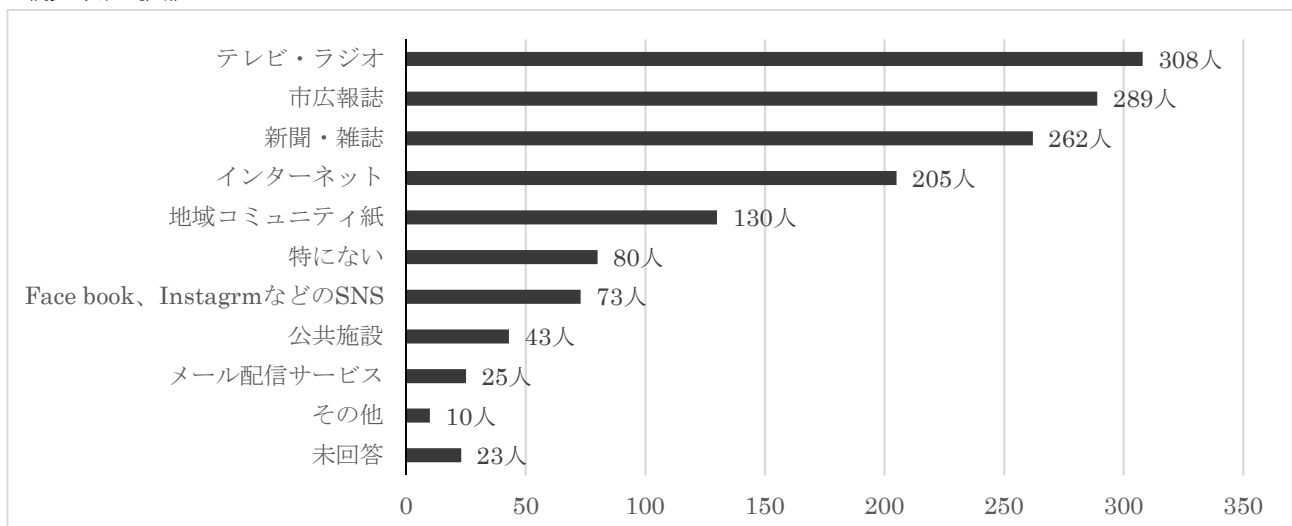
問1 2①あなたの知り合い健康や運動、スポーツに関する情報とは、どのようなものですか？

《複数選択》



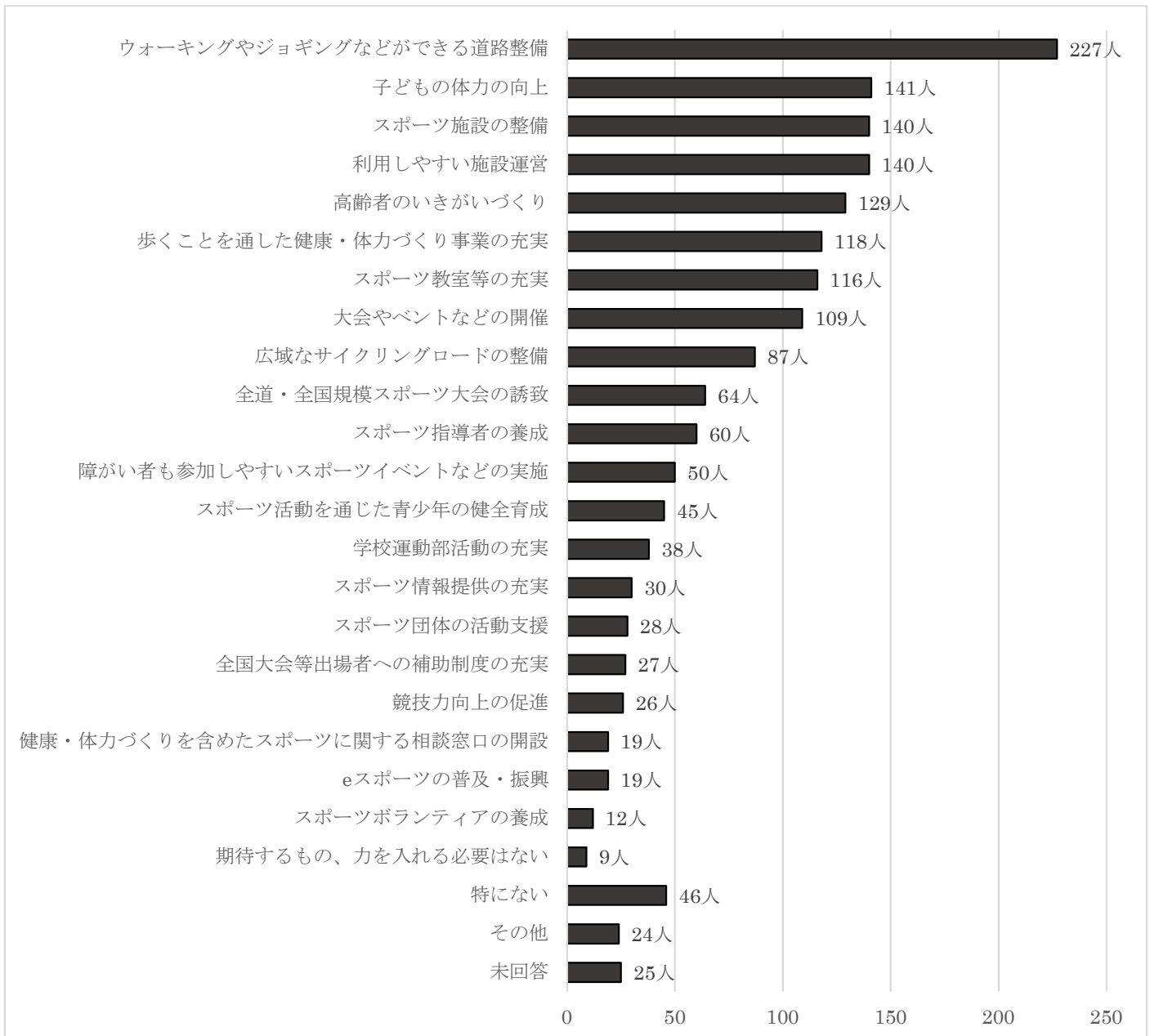
問2②あなたは、健康や運動、スポーツに関する情報をどこから入手しますか？また、どこから入手したいと思いますか？

《複数選択》



- 「運動・健康づくりに関する情報」を回答した年代は多い順に60・70・50代、男性では70・60・80代以上、女性では60・50・40代であった。
- 「Face book～などのSNS」は全体の順位は高くないものの、40代以下の回答率が高く、インターネットの回答率も各年代が前回より高くなっている。このことから今後更に、インターネット・SNSが有効な情報媒体になると考えられる。

問13 あなたは、今後の恵庭市が、夢と健康を育むスポーツ都市として発展していくためには、どのようなことに取り組むべきとお考えですか？《3つまで選択》



- 最も多かったのは「ウォーキングや…ができる道路整備」と前回と同様であり、60代の回答が最も多く、次いで70・50代となっている。
- 「子どもの体力の向上」が前回から回答率が高くなったが、子供の運動不足、体力の低下が近年問題視されていることが影響していると考えられる。30代以上の年代の人からの回答率が高かったことから、子育て世代からの意見が多いと考える。
- 「eスポーツの普及・振興」は40代以下の回答率が高く、前問の問12②の「Face book～SNS」と回答した世代と同様の傾向となった。

○恵庭市スポーツ振興まちづくり条例

平成26年11月28日

条例第29号

スポーツは、人々に夢や希望、感動、勇気を与える文化です。

また、花・水・緑のまち恵庭に暮らす市民がスポーツに親しむことは、健康の維持及び増進並びに地域コミュニティづくりなど、多様な効果を生み出します。

これらを踏まえ、恵庭市は、誰もが生涯にわたって健康で元気に暮らせる「夢と健康を育むスポーツ都市」の実現を目指します。

そのため、市は誰もが気軽にスポーツに親しむことができる環境を整え、団体の垣根、世代等を超えてスポーツを振興するとともに、スポーツを活かした活力あるまちづくりを推進するため、この条例を制定します。

(目的)

第1条 この条例は、スポーツ振興によるまちづくりを総合的に進めるための施策を明らかにすることにより、市民等の誰もが夢を抱き、生涯を明るく健康で過ごすことができる活力あるまち「えにわ」の実現に寄与することを目的とします。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ各号に定めるところによります。

- (1) 市民等 市内に居住し、通学若しくは通勤する者又は本市が推進するスポーツ振興のまちづくりに賛同し、及び協力する個人をいいます。
- (2) 市 市長及び教育委員会をいいます。
- (3) スポーツ関連団体 市内においてスポーツに関連した活動を行う法人その他の団体（国及び地方公共団体を除きます。）をいいます。
- (4) 事業者 市内において事業活動を行う者（スポーツ関連団体を除きます。）をいいます。
- (5) スポーツ振興 まちづくりの広範な分野において、市民等、スポーツ関連団体、事業者及び市が連携することにより、スポーツを通して健康で活力ある地域社会を形成することをいいます。

(6) スポーツ関連活動 スポーツをすること、観ること、応援すること若しくは学ぶこと又はこれらの活動を支援することをいいます。

(7) スポーツ財産 スポーツ関連活動を行う者、スポーツ施設その他スポーツ振興のまちづくりの推進に寄与する財産をいいます。

(市の責務)

第3条 市は、前文にある、スポーツによる「健康の維持及び増進」、「地域コミュニティづくり」、そのための「環境整備」、「世代等を超えたスポーツ振興」及び「スポーツを活かした活力あるまちづくり」という基本理念にのっとり、本市の特性に応じた施策を総合的に策定するとともに、この条例の目的が真に達成されるよう、スポーツに関する取り組みをスポーツ振興担当部に限定せず、部を横断して計画的に推進しなければなりません。

2 市は、市民等及びスポーツ関連団体が行うスポーツ関連活動に対し、当該団体と協働して適切に環境整備を行わなければなりません。

3 市は、スポーツを「する」だけのものではなく、「観たり、応援したり」といった市民等が参画しやすい環境を整備し、多世代が交流できるコミュニティづくりを支援するとともに、適切に広報を行わなければなりません。

(市民等の役割)

第4条 市民等は、一人一人ができる範囲で、スポーツ関連活動に関わることを考え、行動することで、市民等の誰もが夢を抱き、「えにわ」を元気なまちにするよう努めるものとします。

2 市民等は、幼いころから身体を動かす習慣を身につけ、生涯にわたり健康を維持できるよう努めるものとします。

3 市民等は、スポーツを「する」だけでなく、「観たり、応援したり」する等スポーツに関心を持ち、世代を超えてコミュニティに参加するよう努めるものとします。

(スポーツ関連団体の役割)

第5条 スポーツ関連団体は、心身の健康の保持増進及び安全の確保に配慮しながら、スポーツ関連活動の推進に主体的に取り組むとともに、スポーツに対する市民等の関心及び理解を深め、市民等のスポーツ活動への参加を促進するよう努めるものとします。

2 スポーツ関連団体は、他の競技団体とも協働して、スポーツ全体の魅力を発信し、「観たり、応援したり」できる環境を整えるよう努めるものとします。

(事業者の役割)

第6条 事業者は、自らがスポーツ関連活動を行いやすい環境の整備に努めるとともに、地域社会の一員として自主的なスポーツ活動の実施及び支援を行うことにより、スポーツ振興及び地域の活性化を促進するよう努めるものとします。

(議員の責務)

第7条 議員は、市民等が生涯にわたり健康でいられるよう、その実現に向け、一人一人が日ごろから研さんするとともに、気軽にスポーツに親しむことができる環境を整えるため積極的に提案しなければなりません。

(生涯スポーツの推進)

第8条 市は、市民等が生涯にわたり、体力、年齢、技術等に応じたスポーツを継続的に親しむことができるよう、スポーツに参加する機会及びスポーツに関する情報の提供その他必要な施策を講ずるものとします。

(地域の活性化の推進)

第9条 市は、地域において世代を超えた人々の交流が促進され、地域の活性化及び人々の連帯感並びに協働意識の向上を図るため、地域のスポーツ関連活動への支援その他必要な施策を講ずるものとします。

(子どもの体力向上及びスポーツ関連活動の充実)

第10条 市は、次代を担う子どもの心身の健全な発達及び体力の向上を図るため、市民等、スポーツ関連団体及び事業者との連携等の必要な施策を講ずるものとします。

(障がい者スポーツの促進)

第11条 市は、障がい者が自主的かつ積極的にスポーツ活動に安心して参加できるよう、スポーツに参加する機会の提供その他障がい者のスポーツ活動を促進するために必要な施策を講ずるものとします。

(スポーツ施設の整備)

第12条 市は、本市のスポーツ施設を整備するため、必要な措置を講ずるものとします。

(スポーツ財産の活用)

第13条 市は、本市のスポーツ財産の効果的及び効率的な活用を図るものとします。

(スポーツ選手の育成)

第14条 市は、スポーツの競技力の向上を図るため、スポーツ関連団体と連携して、選手を育成するため必要な措置を講ずるものとします。

(指導者の養成)

第15条 市は、地域におけるスポーツの指導の充実及び事故の防止を図るため、指導者の養成、その資質を向上させる講習会等の開催その他必要な施策を講ずるものとします。

(審議会)

第16条 市は、スポーツ関連活動に関する計画や施策に関する検証及び評価を行うため、恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会（以下「審議会」といいます。）を設置するものとします。

(取り組みの検証及び評価)

第17条 市は、審議会、市民等及びスポーツ関連団体の意見を聴取して、この条例の目的に基づく取り組みの達成状況、実施効果等を検証及び評価し、これを公表するものとします。

(補則)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、別に定めます。

附 則

この条例は、公布の日から施行します。

恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会委員名簿

資料5

(任期：令和2年11月30日～令和4年11月29日)

No.	所属団体名	団体内役職等	氏 名	備 考
1	NPO法人 恵庭市体育協会	副会長	末 田 健 丸	
2	恵庭市スポーツ少年団本部	スポーツ少年団本部 副本部長	石 山 豊	会 長
3	恵庭市 スポーツ推進委員 協議会	会 長	阿 部 信 行	
4	恵庭市 老人クラブ連合会	副会長 ・保健体育部会長	峯 垣 伊 佐 美	副会長
5	北海道ハイテクA Cアカデミー	クラブマネージャー	猪 口 実乃里	
6	えにわフットパス 愛好会	事務局長	加 藤 素 己	
7	北海道文教大学	人間科学部 こども発達学科 准教授	平 岡 英 樹	
8	恵庭市校長会	事務局長	前 川 豊 志	

